

キハ付箋ニ其ノ旨ヲ記載シテ雙方契印スヘシ

第二十六條 借受人其ノ林野ヲ轉貸セントスルトキハ願書ヲ作り連署連印シテ之ヲ大林區署長ニ差出スヘシ

第二十七條 借受人契約期間滿了ノ時林野ヲ原狀ニ復スルコト能ハサルトキ又ハ之ニ附屬セシメタル物ヲ收去スルコト能ハサルトキハ大林區署長ハ其ノ請求ニ因リ貸付料ヲ定メテ相當ノ猶豫ヲ與フルコトヲ得

第二十八條 借受人林野ヲ原狀ニ復シ又ハ之ニ附屬セシメタル物ヲ收去スルコトヲ怠リタルトキハ大林區署長之ヲ執行シ借受人ヲシテ其ノ費用ヲ辨償セシムヘシ

第二十九條 借受人本則又ハ契約ニ定メタル事項ニ違反シタルトキハ大林區署長ハ林野ヲ返還セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ貸付料ハ之ヲ還付セス

第三十條 借受人ノ家族、傭人又ハ代理人本則又ハ契約ニ定メタル事項ニ違反シタルトキハ借受人其ノ責ニ任ス

第三十一條 第十三條乃至第十五條、第十九條及第二十條ノ規定ハ林野ノ貸付ニ之ヲ準用ス

第三十二條 林野又ハ其ノ木竹ニ異狀ヲ生シタルトキハ借受人ハ直ニ其ノ旨ヲ大林區署長ニ届出ツヘシ

第三十三條 國有林野法第十一條ノ規定ニ依リ牛馬放牧ノ爲國有林野ノ使用ヲ出願セントスル者ハ願書ニ見取圖ヲ添附シテ之ヲ大林區署長ニ差出スヘシ

第三十四條 大林區署長必要ト認ムルトキハ使用ノ區域ヲ制限スルコトヲ得

第三十五條 第十五條、第十九條、第二十條、第二十四條乃至第二十六條、第二十九條及第三十條ノ規定ハ林野ノ使用ニ之ヲ準用ス

第六章 交換

第三十六條 國有林野法第十四條ノ規定ニ依リ交換ヲ爲サントスルトキハ林野整理支局長ハ相手方ト立合ヲ以テ左ノ事項ヲ調査スヘシ

一 交換地ノ實測面積及價格

第一類 國有林野法施行規則

二 產物ノ種類、材積又ハ數量及價格

三 第三者ノ權利ノ有無

第三十七條 林野整理支局長交換ヲ行ハントスルトキハ意見書ヲ作り之ニ調査書、實測圖及位置圖ヲ添附シテ農商務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第三十八條 第二十四條ノ規定ハ交換ニ之ヲ準用ス

第七章 讓與

第三十九條 國有林野法第十五條ノ規定ニ依リ國有林野ノ讓與ヲ出願セントスル者ハ願書ニ其ノ事由ヲ詳記シ之ニ實測圖ヲ添附シテ大林區署長ニ差出スヘシ

第四十條 讓與セントスル林野ノ使用ノ方法、始期又ハ繼續期間ヲ指定スル必要アルトキハ之ヲ讓與ノ許可書ニ記載スヘシ

第八章 保管

第四十一條 社寺國有林野法第十七條ノ規定ニ依リ其ノ土地ノ森林ノ保管ヲ出

願セントスルトキハ願書ニ實測圖及保護方法書ヲ添附シテ之ヲ大林區署長ニ差出スヘシ

第四十二條 社寺其ノ保管林ニ看守人ヲ置キタルトキ又ハ看守人ヲ變更シタルトキハ其ノ氏名、住所及年齢ヲ大林區署長ニ届出ツヘシ

第四十三條 左ノ場合ニ於テハ社寺ハ直ニ大林區署長ニ届出ツヘシ

- 一 保管林又ハ其ノ木竹ニ異狀ヲ生シタル時
  - 二 採取スヘキ主產物ノ搬出ヲ終ハリタルトキ
  - 三 保管林ノ植樹、補植、手入其ノ他造林ニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキ
- 第四十四條 保管林ノ主產物ヲ採取スル場合ニ於テハ大林區署長ハ社寺ノ採取スヘキ產物、其ノ伐採ノ方法及搬出期間ヲ指定スヘシ

第四十五條 第十三條及第十四條ノ規定ハ林野ノ保管ニ之ヲ準用ス

第九章 委託

第四十六條 國有林野法第十八條ノ規定ニ依リ國有林野ノ委託ヲ受ケントスル第一類 國有林野法施行規則

者ハ願書ニ見取圖、保護方法書及規約書ヲ添附シテ之ヲ大林區署長ニ差出ス

ヘシ

第四十七條 規約書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 林野保護ニ關スル負擔方法
- 二 產物ノ採取及分配ノ方法
- 三 違約者、犯則者又ハ犯罪者ニ對スル處分方法
- 四 其ノ他必要ナル事項

第四十八條 大林區署長必要ト認ムルトキハ產物ノ採取人ニ入林鑑札ヲ交付ス

ヘシ

第四十九條 受託者其ノ林野ノ管理者ヲ選定シタルトキハ其ノ氏名、住所ヲ大

林區署長ニ届出ツヘシ

第五十條 受託者ニ讓與シタル產物ノ材積又ハ數量豫定額ニ達セサルトキト雖  
受託者ハ其ノ補足ヲ請求スルコトヲ得ス

第五十一條 第十三條及第四十二條乃至第四十四條ノ規定ハ林野ノ委託ニ之ヲ

準用ス

第十章 部分林

第五十二條 國有林野法第十九條ノ規定ニ依リ部分林ノ設定ヲ出願セントスル  
者ハ願書ニ實測圖、造林豫定圖及造林設計書ヲ添附シテ之ヲ大林區署長ニ差  
出スヘシ

第五十三條 造林者其ノ權利ヲ處分セントスルトキハ當事者願書ニ連署連印シ

契約書ヲ添附シテ之ヲ大林區署長ニ差出スヘシ

第五十四條 造林者左ノ事業ヲ爲サントスルトキハ其ノ方法ヲ記載シタル願書  
ヲ大林區署長ニ差出スヘシ

一 手入間伐

二 防火線又ハ道路ノ廢置又ハ修繕

第五十五條 造林者規約書ヲ作りタルトキハ之ヲ大林區署長ニ差出スヘシ

第一類 國有林野法施行規則

大林區署長必要ト認ムルトキハ造林書ヲシテ規約書ヲ作ラシムルコトヲ得

第五十六條 材積ヲ以テ分收ヲ爲ストキハ大林區署長ハ造林者ノ立會ヲ以テ其ノ分收スヘキ樹木ヲ指定スヘシ

第五十七條 第十四條、第十九條、第二十四條、第二十五條、第四十二條、第四十三條及第四十九條ノ規定ハ部分林ニ之ヲ準用ス

第五十八條 大林區署ニ部分林臺帳ヲ備ヘ之ニ左ノ事項ヲ登錄ス

- 一 部分林ノ所在、字及面積
- 二 造林者ノ氏名、住所
- 三 部分林設定ノ年月日、其ノ存續期間及伐期
- 四 收益分收ノ割合
- 五 樹木ノ種類及數
- 六 造林者ノ權利ノ處分及其ノ事由
- 七 第一號乃至第六號ニ掲ケタル事項ノ變更又ハ消滅及其ノ事由

第五十九條 部分林設定契約ノ解除ヲ爲シタルトキ又ハ契約カ消滅シタルトキ

ハ大林區署長ハ登錄ヲ抹消スヘシ

第六十條 左ノ場合ニ於テハ造林者ハ直ニ大林區署長ニ届出ツヘシ

- 一 造林者其ノ氏名、住所ヲ變更シタルトキ
  - 二 造林者其ノ權利ヲ處分シタル事由カ消滅シタルトキ
  - 三 部分林ノ樹木ノ數ニ變更ヲ生シタルトキ
- 第六十一條 何人ト雖部分林ニ箇所ニ付手数料金十錢ヲ納付シテ部分林臺帳ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第十一章 雜則

第六十二條 本則ノ規定ニ依リ差出スヘキ書類ニシテ書式ノ定アルモノハ其ノ書式ニ依リテ之ヲ作り差出人署名捺印スヘシ

第六十三條 神社ノ出願ニ付テハ神職及氏子「氏子ナキトキハ信徒」總代願書ニ連署連印スヘシ

第一類 國有林野法施行規則

寺院ノ出願ニ付テハ住職及檀徒（檀徒ナキトキハ信徒）總代願書ニ連署連印シ之ニ管長ノ添書ヲ附スヘシ

佛堂ノ出願ニ付テハ受持僧侶及信徒總代願書ニ連署連印スヘシ

第六十四條 市町村ノ出願ニ付テハ願書ニ市町村會ノ決議書ノ謄本ヲ添附スヘシ

シ

前項ノ規定ハ市町村以外ノ公共團體ノ出願ニ之ヲ準用ス

第六十五條 公用又ハ公益事業ノ爲出願スル場合ニ於テ監督官聽ノ許可ヲ受ケ

ヘキ事項ニ關スルトキハ願書ニ其ノ許可書ノ謄本ヲ添附スヘシ

第六十六條 出願人數人アルトキハ總代ヲ選定スヘシ

願書ニハ總代署名捺印シ之ニ委任狀ヲ添附スヘシ

第六十七條 本則ノ規定ニ依リ出願セントスル者國有林野ヲ測量スル必要アル

トキハ其ノ事由ヲ申立テ大林區署長又ハ林野整理支局長ノ許可ヲ受ケヘシ

附則

第六十八條 本則施行前ニ生シタル事項ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

本則施行前ヨリ存スル部分林ニ付テハ造林者及利害關係人ハ本則施行ノ日ヨ

リ一年以内ニ第五十八條ニ掲ケタル事項ノ登録ヲ大林區署長ニ申請スヘシ

（書式略ス）

### ●國有林野部分林規則

（明治三十二年八月二日）  
（勅令第三百六十二號）

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ國有林野部分林規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

#### 國有林野部分林規則

第一條 國有林野ニ部分林ヲ設定スルハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 部分林ノ收益分收ノ部合ハ地代及造林費ヲ參酌シテ農商務大臣之ヲ定

ム

造林者ノ分收部合ハ十分ノ八ヲ超ユルコトヲ得ス

第三條 造林者ハ大林區署長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ權利ヲ處分スルコト

第一類 國有林野部分林規則

ヲ得ス

第四條 造林者ハ部分林ノ植樹、補植、手入其ノ他造林ニ必要ナル行爲ヲ爲スヘシ

第五條 造林者ハ大林區署長ノ指定シタル期間内ニ植樹ヲ終ルヘシ

大林區署長ハ已ムヲ得サル事由アリト認ムル場合ニ限り造林者ノ請求ニ依リ二年以内ニ於テ植樹期間ノ延長ヲ許可スルコトヲ得

第六條 造林者植樹準備又ハ手入ノ爲部分林ニ耕作ヲ爲サントスルトキハ大林

區署長ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 造林者ハ左ノ事項ニ關シ部分林ヲ保護スル義務ヲ負フ

一 火災ノ豫防及消防

二 盜伐、誤伐、冒認、侵墾其ノ他ノ加害行爲ノ豫防及防止

三 有害動物ノ豫防及驅除

四 境界標其ノ他標識ノ保存

五 雜樹ノ保育

六 大林區署長ノ命ニ依リ看守人ヲ配置スルコト

第八條 造林者ハ左ノ產物ヲ採取スルコトヲ得

一 下草、落葉及落枝

二 樹實及菌蕈ノ類

三 部分林設定後天然ニ生育シタル雜木

四 植樹後二十年以内ニ於テ手入ノ爲伐採スル樹木

第九條 部分林設定後天然ニ生育シタル樹木ニシテ雜木ニ非サルモノハ之ヲ部分林ノ樹木ト看做ス

第十條 根株ハ特別ノ契約アル場合ヲ除ク外國ノ所有トス

第十一條 部分林ノ收益ハ其ノ樹木ノ賣拂代金ヲ以テ分收ス但シ國ノ分收スヘキ樹木ヲ保存スル必要アルトキハ材積ヲ以テ分收ヲ爲スコトヲ得

第十二條 代金ヲ以テ分收スルトキハ樹木ノ賣拂ハ當該官廳之ヲ行フ

第一類 國有林野部分林規則

材積ヲ以テ分收スルトキハ造林者ハ大林區署長ノ指定シタル期間内ニ其ノ分  
收樹木ノ搬出ヲ終ルヘシ

前項ノ搬出期間ハ三年ヲ超ユルコトヲ得ス

大林區署長ハ已ムヲ得サル事由アリト認ムル場合ニ於テハ二年以内ヲ限リ搬  
出期間ノ延長ヲ許可スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ延長期間ニ對スル地代ヲ  
前納セシムヘシ

第十三條 造林者搬出期間内ニ分收樹木ノ搬出ヲ終ラサルトキハ其ノ搬出セサ  
ル樹木ハ國ノ所有ニ歸ス

第十四條 大林區署長ハ森林經濟上利益ナリト認ムル場合ニ限リ造林者ノ請求

ニ因リ十年以内ニ於テ部分林ノ存續期間又ハ伐期ヲ變更スルコトヲ得

第十五條 部分林ニ損害ヲ加ヘタル第三者ヨリ賠償トシテ得タル金額ハ分收部  
合ニ依リ之ヲ分收ス

第十六條 天災其ノ他避クヘカラサル事變ニ因リ契約無効ト爲リタル場合ニ於

テハ現存ノ樹木ハ分收部合ニ依リ之ヲ分收ス已ムヲ得サル事由ニ因リ造林者  
契約ノ解除ヲ願出テ之ヲ許可シタル場合亦同シ

第十七條 造林者左ノ諸項ニ該當スルトキハ農商務大臣ハ部分林設定契約ノ解  
除ヲ爲スコトヲ得但シ造林者ノ責ニ歸スヘカラサル事由アルトキハ此ノ限ニ  
在ラズ

一 植樹期間ノ始期ヨリ一年ヲ經過スルモ植樹ニ著手セサルトキ

二 植樹期間内ニ植樹シタル面積方總面積ノ二分ノ一ニ及ハサルトキ

三 植樹期間延長ノ許可ヲ得タル場合ニ於テ其期間内ニ植樹ヲ終ラサルトキ

四 植樹ヲ終リタル後五年ヲ過ケルモ成林ノ見込ナキトキ

五 造林者其ノ部分林ニ關シ罪ヲ犯シタルトキ

第十八條 前條ノ規定ニ依リ部分林設定契約ヲ解除ヲ爲シタルトキハ部分林設  
定ノ日ニ遡リ地代ヲ徵收シ既植ノ樹木ハ國ノ所有ニ歸ス

第十九條 造林者部分林ヲ他ノ目的ニ使用シタルトキハ五十圓以下ノ罰金ニ處

第一類 國有林野部分林規則

ス部分林ヲ他人ニ貸付シ又ハ使用セシメタルトキ亦同シ  
附 則

第二十條 明治十一年(三月)内務省甲第四號布達部分木仕付條例ハ之ヲ廢止ス  
第二十一條 第二條ノ規定ハ國有林野法第十九條第二項ノ規定ニ依ル部分林ニ  
ハ之ヲ適用セス

第二十二條 國有林野法第十九條第二項ノ規定ニ依ル部分林ニシテ存續期間ノ  
定メナキモノ又ハ其ノ期間本令施行ノ日ヨリ起算シテ八十年ヲ超ユルモノニ  
付テハ其ノ部分林ノ存續期間及伐期ハ現存スル樹木ノ年齢ヲ參酌シテ農商務  
大臣之ヲ定ム

第二十三條 國有林野法第十九條第二項ノ規定ニ依ル部分林ニシテ天然ニ生育  
シタル雜木ノ分収ヲ目的トスルモノナルトキハ其ノ雜木ハ部分林ノ樹木ト看  
做ス

● 國有林野委託規則

(明治三十二年八月二日)  
勅令第三百六十四號

朕國有林野委託規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國有林野委託規則

第一條 市町村又ハ市町村内ノ一部ニ國有林野ノ保護ヲ委託スルハ本令ノ定ム  
ル所ニ依ル

第二條 委託林野ノ區域ハ市町村ノ位置、緣故及其ノ地方ノ狀況ヲ參酌シテ農  
商務大臣之ヲ定ム

第三條 委託林野ノ委託期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ス  
前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得

第四條 受託者ハ委託林野ニ關シ左ノ義務ヲ負フ

- 一 火災ノ豫防及消防
- 二 盜伐、誤伐、冒認、侵墾其ノ他ノ加害行爲ノ豫防及防止

第一類 國有林野委託規則



- 三 有害動物ノ豫防及驅除
  - 四 境界標其ノ他ノ標識ノ保存
  - 五 稚樹ノ保育
  - 六 大林區署長ノ命ニ依リ手入ヲ爲シ又ハ看守人ヲ配置スルコト
- 第五條 左ノ委託林野產物ハ之ヲ受託者ニ讓與スルコトヲ得
- 一 未木、枝條及枯倒木
  - 二 手入ノ爲伐採スル樹木
  - 三 自家用薪炭材
  - 四 土地ノ資質ヲ爲ササル副產物
- 第六條 左ノ場合ニ於テハ農商務大臣ハ委託ヲ解除スルコトヲ得
- 一 受託者第四條ノ義務ヲ怠リタルトキ
  - 二 受託者其ノ委託林野ニ關シ罪ヲ犯シタルトキ
  - 三 委託林野ヲ公用又ハ公益事業ニ供スル必要生シタルトキ

前項ノ規定ニ依リテ委託ヲ解除シタル場合ニ於テハ損害ヲ賠償セス

第七條 受託者タル市町村又ハ市町村ノ一部ノ住民委託林野ニ損害ヲ加ヘタルトキハ受託者ハ之ヲ賠償スルノ責ニ任ス

附 則

第八條 本令施行前ニ副產物ノ無料採取ヲ許可シタル森林ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

第九條 本令施行前ニ副產物ノ無料採取ヲ許可シタル森林ハ其ノ採取者ノ出願ニ依リ委託林野ト爲スコトヲ得

● 國有土地森林原野下戻法

(明治三十二年四月十七日 法律第九十九號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國有土地森林原野下戻法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國有土地森林原野下戻法

第一類 國有土地森林原野下戻法

第一條 地租改正又ハ社寺土地處分ニ依リ官有ニ編入セラレ現ニ國有ニ屬スル土地森林原野若ハ立木竹ハ其ノ處分ノ當時之ニ付キ所有又ハ分收ノ事實アリタル者ハ此ノ法律ニ依リ明治三十三年六月三十日迄ニ主務大臣ニ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得

前項ノ期限ヲ經過シタルモノ又ハ裁判所ノ判決ヲ受ケタルモノハ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス

府縣設置以後土地處分ヲ受ケタル土地及地租改正處分既濟地方ニ於ケル未定地脱落地ニ付テハ此ノ法律ノ規定ヲ準用ス

第二條 下戻ノ申請ヲ爲ス者ハ第一條ノ事實ヲ證スル爲少クトモ左ノ書面ノ一ヲ添附スルコトヲ要ス

一 公簿若ハ公書ニ依リ所有又ハ分收ノ事實ヲ證スルモノ

二 高受又ハ正租ヲ納メタル證アルモノ

三 拂下下付賣買讓與質入書入寄附等ニ依ル所有又ハ分收ノ事實ヲ證スヘキ

モノ

四 木竹又ハ其ノ賣却代金ヲ分收シタル證アルモノ

五 私費ヲ以テ木竹ヲ植付ケタル證アルモノ

六 私費ヲ以テ田畑宅地ニ開墾シタル證アルモノ

第三條 前條ノ證據書類ニシテ所有又ハ分收ノ事實ヲ證スルニ足ルト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ下戻ヲ爲スヘシ

第四條 下戻ヲ受ケタル者ハ其ノ下戻ニ因リテ所有又ハ分收ノ權利ヲ取得ス前項ニ依リ所有又ハ分收ノ權利ヲ取得シタル者ハ其ノ土地森林原野若ハ立木竹ニ關シ第三者ニ對スル國ノ權利義務ヲ承繼ス

第五條 第二條ニ依リ下戻ヲ受ケタルモノト雖モ公用又ハ社寺境内ニ供セラルルモノハ其ノ公用又ハ社寺境内ヲ廢シタル後ニアラサレハ權利ヲ行使スルコトヲ得ス

第六條 下戻申請ニ對シ不許可ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ

第一類 國有土地森林原野下戻法

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七條 此ノ法律施行以前ニ差出シタル下戻ニ關スル申請書又ハ願書ハ此ノ法律ニ依リタルモノト看做ス

### ●國有土地森林原野下戻申請手續

(明治三十一年四月十八日農商務省令第八號)

本年法律第九十九號ニ依ル國有土地森林原野下戻申請手續左ノ通相定ム(内務農商務大臣署名)

#### 國有土地森林原野下戻申請手續

第一條 國有土地森林原野下戻法ニ依ル申請手續ハ本令ノ定ムル所ニ依ル  
第二條 下戻申請書ニシテ土地及北海道ノ森林原野ニ係ルモノハ地方長官ヲ經由シテ内務大臣ニ森林原野ニ係ルモノハ大林區署長ヲ經由シテ農商務大臣ニ差出スヘシ

立木竹竝ニ未定地、脫落地等ニ係ルモノ亦前項ニ同シ

申請書ハ別記雛形ニ準據シ其土地森林原野等ノ位置ヲ示シタル詳細ノ圖面ヲ之ニ添附スヘシ

第三條 市町村有若クハ市町村内ノ區又ハ市町村内一部ノ所有ニ下戻申請ヲ爲ストキハ市町村會又ハ區會ノ決議書ヲ添ヘ其市參事會町村長ヨリ申請ヲ爲スヘシ

社寺ヨリ申請スル場合ハ神社ニ在テハ神職及氏子總代(氏子總代ナキトキハ信徒總代)寺院ニ在テハ住職及檀徒總代(檀徒總代ナキトキハ信徒總代)佛堂ニ在テハ受持僧侶及信徒總代連署シ且寺院ノ申請ニハ其所屬宗派管長ノ添書ヲ附スヘシ

代理人ヨリ申請スル場合ハ代理委任ヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第四條 地方長官又ハ大林區署長ニ於テ下戻申請書ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ意見ヲ附シテ主務大臣ニ進達スヘシ

第一類 國有土地森林原野下戻申請手續

第五條 主務大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ直接申請人ニ就キ推問ヲ爲ス  
コトアルヘシ

第六條 申請ニ對スル指令又ハ申請書ノ却下ハ地方長官又ハ大林區署長ヲ經テ  
申請人ニ交付スヘシ

第七條 申請書ニ添附セル證據ニ對シ主務大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ何年  
何月何日何第何號檢閱ナル文字ヲ押捺若クハ記入スルコトアルヘシ

(別記雛形)

何々申請書

住所身分職業

申請者 氏 名

年齢

申請ノ目的物

何

(所在地、種目、面積、樹種、本數並ニ地番號アルモノハ其番號ヲ詳記スヘシ)

事實

何

理由

何

立證

何

(證據ハ本書並ニ寫ヲ添附スヘシ)

右申請仕候也

年月日

氏 名 印

市町村長 氏 名 印

主務大臣宛

第一類 國有土地森林原野下戻申請手續

● 鑛業

● 鑛業法

(明治三十八年三月七日)  
法律第四十五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル鑛業法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
鑛業法

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ鑛業ト稱スルハ鑛物ノ試掘、採掘及之ニ附屬スル事業ヲ謂フ  
第二條 本法ニ於テ鑛物ト稱スルハ金鑛、銀鑛、銅鑛、鉛鑛、蒼鉛鑛、錫鑛、安質母  
尼鑛、水銀鑛、亞鉛鑛、鐵鑛、硫化鐵鑛、格魯謨鐵鑛、滿俺鑛、重石鑛、水鉛鑛、砒  
鑛、燐鑛、黑鉛、石炭、亞炭、石油、土瀝青及硫黃ヲ謂フ但シ砂鑛ハ此ノ限ニ在ラ  
ス

第三條 未タ掘探セサル鑛物(廢鑛及鑛滓ヲ含ム)ハ國ノ所有トス

第四條 本法ニ於テ鑛業權ト稱スルハ試掘權及採掘權ヲ謂フ

鑛業權者ハ鑛區ニ於テ其ノ許可ヲ受ケタル鑛物ヲ掘探シ及之ヲ取得スル權利  
ヲ有ス但シ鑛區ノ重複シタル場合ニ於テハ鑛業權者ハ互ニ其ノ權利ヲ制限セ  
ラル

第五條 帝國臣民又ハ帝國法律ニ從ヒ成立シタル法人ニ非サレハ鑛業權者トナ  
ルコトヲ得ス

第六條 本法ニ規定シタル鑛業權者ノ權利義務ハ鑛業權ト共ニ移轉ス

本法ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ヲ出願セムトスル者、鑛  
業出願人、鑛業權者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ  
有ス

第七條 二人以上共同シテ鑛業ヲ爲シ又ハ之ヲ爲サムトスルトキハ内一人ヲ選  
定シテ代表者ト爲シ鑛山監督署長ニ届出ヘシ其ノ届出ナキトキハ鑛山監督署  
長之ヲ指定ス

代表者ハ國ニ對シ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ヲ代表ス

第一類 鑛業法

共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ハ組合契約ヲ爲シタル者ト看做ス

第八條 本法ニ於テ鑛夫ト稱スルハ鑛業ニ従事スル勞役者ヲ謂フ

第九條 本法ニ於テ鑛區ト稱スルハ鑛業權ノ登錄ヲ得タル土地ノ區域ヲ謂フ

鑛區ノ境界ハ直線ヲ以テ之ヲ定メ地表境界線ノ直下ヲ限トス其ノ面積ハ石炭

ニ在リテハ五萬坪以上其ノ他ノ鑛物ニ在リテハ五千坪以上トシ共ニ百萬坪

超ユルコトヲ得ス但シ鑛利保護上又ハ鑛區分合上已ヲ得サル場合ニハ百萬坪

ヲ超ユルコトヲ得

同一ノ鑛區ニ於テハ二以上ノ鑛業權ヲ設定スルコトヲ得ス但シ其ノ目的異種

ノ鑛物ナルトキ及第三十六條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條 宮城、離宮、神宮及皇陵ノ周圍三百間以内並要塞地帶第一區内ノ場所ハ

之ヲ鑛區ト爲スコトヲ得ス

陸海軍所轄ノ軍港、要港、火藥製造所、火藥庫及彈藥庫ノ周圍三百間以内並要

塞地帶第二區及第三區内ノ場所ハ所轄官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ鑛

區ト爲スコトヲ得ス

前二項ニ掲ケタル場所ハ所轄官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ鑛業ノ爲之ヲ使

用スルコトヲ得ス

第十一條 鐵道、軌道、道路、運河、河湖、沼池、隄塘、社寺境内地、墓地、公園地其

ノ他ノ營造物及建物ノ地表地下トモ其ノ周圍三十間以内ノ場所ニ於テハ所轄

官廳ノ許可、所有者及關係人ノ承諾ヲ受クルニ非サレハ鑛業ヲ爲シ又ハ鑛業

ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得ス但シ所有者及關係人ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ

承諾ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條 鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正、増減及改正ノ出願ニ付テハ鑛業ノ出願

ニ關スル規定ヲ準用ス

第十三條 本法ニ於テ鑛業稅ト稱スルハ鑛區稅及鑛產稅ヲ謂フ

第十四條 本法ハ第八章ノ規定ヲ除クノ外國ノ鑛業ニ之ヲ適用ス

第二章 鑛業權

第一類 鑛業法

第十五條 礦業權ハ物權トシ不動産ニ關スル規定ヲ準用ス但シ民法第七十九條第一項ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 礦業權ハ不可分トス

第十七條 礦業權ハ相續、讓渡、滯納處分及強制執行ノ目的タルノ外權利ノ目的タルコトヲ得ズ但シ探掘權ハ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

第十八條 試掘權ノ存續期間ハ登録ノ日ヨリ二箇年トス

前項ノ期間ハ礦區ノ増減又ハ改正ノ爲變更セラルルコトナシ

第十九條 礦業權及抵當權ノ設定、變更、移轉、消滅並處分ノ制限ハ礦業原簿ニ

登録ス共同礦業權者ノ脱退ニ付テモ亦同シ但シ礦業權ノ處分ヲ制限セラレタルトキハ廢業ノ登録ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ登録ハ登記ニ代ルモノトス

登録ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 前條第二項ニ掲ケタル事項ハ相續、期限ノ到來ニ因ル礦業權ノ消滅

並第四十二條及第四十三條ノ競賣ノ場合ヲ除クノ外登録ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十一條 礦業ヲ爲サムトスル者ハ願書ニ礦區圖ヲ添ヘ試掘ニ付テハ鑛山監督署長、探掘ニ付テハ農商務大臣ニ出願スヘシ

第二十二條 礦業出願人ハ名義ノ變更ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ試掘ニ付テハ鑛山監督署長、探掘ニ付テハ農商務大臣ニ届出ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十三條 探掘出願人ハ出願地ニ其ノ探掘セムトスル礦物ノ存在スルコトヲ證明スヘシ

第二十四條 農商務大臣ニ於テ試掘出願地探掘ニ適スルモノト認メタルトキハ探掘ノ出願ヲ命スヘシ

前項ノ場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ探掘ノ出願ヲ爲ササルトキハ試掘ノ出願ハ之ヲ許可セス

第一類 礦業法

前二項ノ規定ハ農商務大臣ニ於テ採掘出願地仍試掘ヲ要スルモノト認メタル  
場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 採掘出願地ノ位置形狀鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損スルモノ  
ト認メタルトキハ農商務大臣ハ其ノ訂正ノ出願ヲ命スヘシ

前項ノ場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ訂正ノ出願ヲ爲ササルト  
キハ採掘ノ出願ハ之ヲ許可セス

第二十六條 採掘出願地ノ位置形狀鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損スルモノ  
ト認メタルトキハ採掘出願人ハ其ノ訂正ヲ出願スルコトヲ得

第二十七條 鑛業出願人ハ出願地ノ増減ヲ出願スルコトヲ得

第二十八條 試掘出願地出願ノ當時鑛區ト重複スル場合ニ於テ同種ノ鑛物ナル  
トキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ其ノ出願ヲ許可セス

第二十九條 採掘出願地出願ノ當時他人ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テ同種ノ鑛  
物ナルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ其ノ出願ヲ許可セス但シ第三十六條

ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 採掘出願地他人ノ試掘出願地ト重複スル場合ニ於テ同種ノ鑛物ナル  
トキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ第二十四條第一項及第二項ノ規定ヲ準用

第三十一條 鑛業出願地他人ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テ異種ノ鑛物ナルトキ  
ハ鑛山監督署長ハ之ヲ鑛業權者ニ通知スヘシ

鑛業權者ハ前項ノ通知書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ自ら其ノ鑛業ヲ出願スル  
コトヲ得

前二項ノ規定ハ第三十六條及豫メ鑛業權者ノ承諾ヲ得タル場合ニハ之ヲ適用  
セス

第一項ノ出願他人ノ鑛業ニ妨害アリト認メタルトキハ之ヲ許可セス

第三十二條 公益ヲ害スルモノト認メタルトキ又ハ鑛業ノ價值ナシト認メタル  
トキハ鑛業ノ出願ヲ許可セス

第一類 鑛業法



第三十三條 試掘出願地又ハ採掘出願地重複スルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ願書發送ノ日時ノ先ナル者優先權ヲ有ス願書發送ノ日時同一ナルトキハ鑛山監督署長ハ之ヲ各出願人ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テハ出願人ハ其ノ通知書發送ノ日ヨリ六十日以内ニ協議ヲ調ヘ之ヲ届出ヘシ

出願人前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ抽籤ニ依リ優先權者ヲ定ム  
前二項ノ規定ハ第二十五條、第二十六條、第三十一條第二項及第三十六條ノ場合ニハ之ヲ適用セス

試掘出願地採掘出願地ト重複スル場合ニ於テ願書發送ノ日時同一ナルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ採掘出願人ハ優先權ヲ有ス

第三十四條 試掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ採掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ出願地重複スルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ採掘ノ出願ハ試掘願書發送ノ日時ニ於テ試掘ノ出願ニ代リタルモノト看做ス但シ前條第四項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項本文ノ規定ハ採掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ試掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ第二十四條及第二十五條ノ場合ニ於ケル期限經過後ノ出願ニ之ヲ適用セス

第三十五條 採掘權者ハ鑛區ノ合併又ハ分割ヲ農商務大臣ニ出願スルコトヲ得鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキ亦同シ

抵當權ノ設定アル場合ニ於テ前項ノ出願ヲ爲サムトスルトキハ抵當權者ノ承諾及抵當權ノ順位ニ關スル協定ヲ經ヘシ

第三十六條 鑛床ノ位置形狀ニ依リ鄰接スル他人ノ鑛區ニ掘進スルノ必要アルトキハ鄰接鑛業權者ノ承諾ヲ經テ鑛區ノ訂正ヲ出願スルコトヲ得但シ鄰接鑛業權者ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十七條 第二十五條第一項、第二十六條、第二十七條及第三十三條第三項ノ規定ハ之ヲ鑛區ニ準用ス

第一類 鑛業法

第三十五條第一項ニ該當スル場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ出願ヲ爲ササルトキハ農商務大臣ハ探掘權ヲ取消スヘシ  
 抵當權ノ設定アル場合ニ於テ鑛區ノ減少ヲ出願セムトスルトキハ豫メ抵當權者ノ承諾ヲ經ヘシ  
 第三十八條 錯誤ニ因リ鑛業ノ出願ヲ許可シタルトキハ農商務大臣ハ鑛區ノ改正ヲ命シ又ハ鑛業權ヲ取消スヘシ  
 前項ノ改正ヲ命シタル場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ出願ヲ爲ササルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ  
 第三十九條 鑛業公益ヲ害スルモノト認メタルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

第四十條 鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登録ノ日ヨリ一箇年以内ニ事業ニ著手セズ若シ一箇年以上休業シタルトキ又ハ施業案ニ依ラスシテ探掘ヲ爲シタルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得

第四十一條 鑛業權者第七十二條ノ命令ニ從ハサルトキ又ハ鑛業稅ヲ納メサルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得  
 第四十二條 探掘權取消ノ登録アリタルトキハ鑛山監督署長ハ直ニ之ヲ抵當權者ニ通知スヘシ  
 抵當權者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ探掘權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得但シ第三十八條第一項及第三十九條ノ規定ニ依ル探掘權取消ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

探掘權ハ前項ノ期間内又ハ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス  
 競賣ニ依ル賣得金ハ競賣ノ費用及抵當權者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス  
 競買人ハ探掘權取消ノ登録アリタル時ニ於テ探掘權ヲ讓受ケタルモノト看做ス

第一類 鑛業法

第四十三條 前條ノ規定ハ探掘權者廢業シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條 探掘權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ施業案ヲ鑛山監督署長ニ差出ス  
ヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

探掘權者ハ施業案ニ依ルニ非サレハ探掘ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條 鑛山監督署長ハ理由ヲ示シテ施業案ノ變更ヲ命スルコトヲ得

前項ニ依リ變更シタル施業案ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ  
變更スルコトヲ得ス

第四十六條 探掘權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ坑内實測圖及鑛業簿ヲ鑛業事務  
所ニ備置キ且其ノ複本ヲ鑛山監督署長ニ差出スヘシ

第四十七條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛業ニ關スル明細表ヲ鑛山監督  
署長ニ差出スヘシ

第四十八條 試掘ニ依リテ得タル鑛產物ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クルニ非サ  
レハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第四十九條 鄰接鑛業權者其ノ他ノ利害關係人ハ他人ノ鑛區ニ付鑛山監督署長

ニ其ノ實地調査ヲ出願スルコトヲ得

出願人ハ前項ノ調査ニ要スル人夫及物品ヲ供スヘシ

第三章 土地使用

第五十條 本章ニ於テ關係人ト稱スルハ第五十二條乃至第五十四條及第五十六  
條ノ通知前使用又ハ收用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者及其ノ通知後ニ

於テ通知前ヨリ既存セル權利ヲ承繼シタル者ヲ謂フ

第五十一條 本章ニ於テ補償金ト稱スルハ對價、使用料其ノ他土地所有者及關  
係人ノ通常受クヘキ損失ニ對スル補償金ヲ總稱ス

第五十二條 鑛業ノ出願又ハ鑛業ノ爲必要アルトキハ鑛業ヲ出願セムトスル  
者、鑛業出願人又ハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入

リ測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ許可ヲ得タル者他人ノ土地ニ立入ラムトスルトキハ豫メ土地占有者ニ

第一類 鑛業法

通知スヘシ

第五十三條 前條ノ規定ニ依ル測量又ハ検査ノ爲必要アルトキハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ障礙物ヲ除却スルコトヲ得

前項ノ許可ヲ得タル者障礙物ヲ除却セムトスルトキハ豫メ其ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ

第五十四條 鑛業上急迫ノ危険ヲ防ク爲必要アルトキハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ直ニ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ鑛業權者ハ遲滞ナク之ヲ土地占有者ニ通知スヘシ

第五十五條 前三條ニ依リ所有者及關係人ノ受ケタル損失ニ對シテハ其ノ請求ニ因リ補償金ヲ拂渡スヘシ

第五十六條 鑛業權者ハ左ニ掲ケル目的ノ爲必要アルトキハ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

一 錐鑽孔又ハ坑口ノ開穿

二 鑛物、土石、爆發藥、用材、薪炭、鑛滓又ハ灰燼ノ置場ノ設置

三 選鑛場又ハ製鍊場ノ建設

四 鐵道、軌道、道路、運河、溝渠、管樋、池井、索道又ハ電線ノ開設

五 其ノ他鑛業上必要ナル工事又ハ工作物ノ施設

前項ノ規定ニ依リ鑛業權者他人ノ土地ヲ使用セムトスルトキハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受ケヘシ

鑛山監督署長前項ノ許可ヲ與ヘタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知ス

關係人ニ協議ヲ爲スヘシ

第五十七條 土地ノ使用三箇年以上ニ亙ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十八條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用井タル目的ニ供スル

第一類 鑛業法

第五十九條 土地ヲ使用又ハ收用スルトキハ土地所有者及關係人ニ補償金ヲ拂渡スヘシ

第六十條 土地ノ一部ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第六十一條 土地ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ通路、溝渠、塙柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、増築又ハ修繕ヲ爲スノ必要ヲ生スルトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第六十二條 第五十六條ノ通知ノ後土地ノ形質ヲ變更シ工作物ノ新築、改築、増築者ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置セムトスルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受ケルシ許可ヲ受ケスシテ之ヲ爲シタル者ハ之ニ關スル補償金ヲ請求スルコトヲ得ス

第六十三條 第五十六條ノ通知ノ後事業ヲ廢止又ハ變更シタルニ因リテ土地所

有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ニ對シ鑛業權者ハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ  
第六十四條 土地所有者及關係人ハ鑛業權者ヲシテ補償金ニ付相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

第六十五條 土地ノ使用又ハ收用ノ協議調ヒ裁決確定シ又ハ判決アリタルトキハ補償金又ハ擔保ノ裁決確定セザルトキト雖鑛業權者ハ其ノ裁決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供シテ土地ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得

第六十六條 鑛業權者補償金ノ拂渡若ハ供託ヲ爲サス又ハ擔保ヲ供セザルトキハ土地所有者及關係人ハ土地ヲ用ウルコトヲ拒ムコトヲ得

第六十七條 土地ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ鑛業權者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

土地ヲ使用スルトキハ其ノ權利ハ使用ノ時期ニ於テ鑛業權者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨ケサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條 土地ノ使用ヲ終リタルトキハ鑛業權者ハ土地ヲ原狀ニ復シ又ハ原狀ニ復セサルニ因リテ生スル損失ニ對シ補償金ヲ拂渡シテ之ヲ返還スヘシ  
第六十九條 先取特權、質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ使用又ハ收用ニ因リテ債務者ノ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押

第七十條 土地ノ使用及收用ニ關スル規定ハ水ノ使用ニ關スル權利ニ之ヲ準用ス

第四章 鑛業警察

第七十一條 鑛業ニ關スル左ノ警察事務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農商務大臣及鑛山監督署長之ヲ行フ

- 一 建設物及工作物ノ保安
- 二 生命及衛生ノ保護
- 三 危害ノ豫防其ノ他公益ノ保護

第七十二條 鑛業上危險ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認メタルトキハ

農商務大臣ハ鑛業權者ニ其ノ豫防又ハ鑛業ノ停止ヲ命スヘシ  
急迫ノ危險ヲ防ク爲必要アルトキハ鑛山監督署長ハ前項ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第七十三條 農商務大臣ハ採掘權者ニ技術ニ關スル管理者ノ選任又ハ改任ヲ命スルコトヲ得

管理者ノ資格及職務ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十四條 鑛業權消滅シタル後ト雖一箇年間ハ農商務大臣及鑛山監督署長ハ

第七十二條ノ規定ニ準シ其ノ鑛業權ヲ有セシ者ニ對シテ危害豫防ニ關スル設備ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ヲ受ケタル者ハ危害豫防ノ目的ノ範圍内ニ於テ鑛業權者ト看做ス

第五章 鑛夫

第一類 鑛業法

第七十五條 採掘權者ハ鑛夫ノ雇傭及勞役ニ關スル規則ヲ定メ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クヘシ

第七十六條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛夫名簿ヲ鑛業事務所ニ備置クヘシ

第七十七條 鑛業權者鑛夫ヲ解雇シタル場合ニ於テハ其ノ請求ニ依リ雇傭ノ期間、業務ノ種類、技能、賃金及解雇ノ事由ヲ記載シタル證明書ヲ與フヘシ

第七十八條 鑛業權者ハ毎月一回以上期日ヲ定メ通貨ヲ以テ鑛夫ニ其ノ賃金ヲ支拂フヘシ

第七十九條 農務商大臣ハ命令ヲ以テ鑛夫ノ年齢及就業時間並婦女、幼者ノ勞役ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

第八十條 鑛夫自己ノ重大ナル過失ニ因ラスシテ業務上負傷シ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛夫又ハ其ノ遺族ヲ扶助スヘシ

第六章 鑛業稅

第八十一條 鑛業權者ニハ鑛業稅ヲ課ス

金鑛、銀鑛、鉛鑛及鐵鑛ニ付テハ鑛產稅ヲ課セス

第八十二條 鑛業權者ニハ其ノ鑛業ニ付營業稅ヲ課セス

第八十三條 鑛區稅ハ鑛區一千坪毎ニ毎年試掘ニ付テハ十錢、採掘ニ付テハ四十錢トス但シ二千坪未滿ハ之ヲ一千坪ト看做ス

第八十四條 鑛區稅ハ毎年十二月中ニ翌年分ヲ前納スヘシ

第三十五條 第一項ニ依ルモノヲ除クノ外鑛業權ノ設定若ク變更ノ登録ニ依リ新ニ負擔シ又ハ不足セル鑛區稅ニシテ其ノ登録ノ年ニ係ルモノハ之ヲ即納スヘシ

前項ニ依リ納付スヘキ鑛區稅ハ月割ヲ以テ之ヲ計算ス鑛業權ノ存續期間滿了ノ年ニ係ルモノ亦同シ

第八十五條 鑛產稅ハ鑛產物ノ價格ノ百分ノ一トス

第一類 鑛業法

鑛產物ノ價格ハ主要ナル市場ノ平均相場ヲ標準トシ農商務大臣之ヲ告示ス其  
ノ告示セサルモノハ之ヲ檢定ス

第八十六條 鑛產稅ハ毎年三月中ニ前年分ヲ納付スヘシ但シ鑛業權消滅ノ場合  
ニ於テハ即納スヘシ

第八十七條 共同鑛業權者ノ納稅義務ハ連帶トス

第八十八條 北海道、府縣及市町村ハ鑛業稅ニ對シ各本稅百分ノ十以內ノ附加  
稅ヲ課スルコトヲ得

前項ノ附加稅ノ外北海道、府縣及市町村ハ鑛業ニ對シ又ハ鑛夫、鑛產物、鑛  
區若ハ直接鑛業用ノ工作物、器具、機械ヲ標準トシテ課稅スルコトヲ得ス  
前二項ノ規定ハ北海道及沖繩縣ノ區並間切島其ノ他町村ニ準スヘキモノニ之  
ヲ準用ス

第七章 訴願、訴訟及裁決

第八十九條 鑛業ニ關スル出願ノ許可又ハ拒否ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スル

コトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコト  
ヲ得

第九十條 第十一條又ハ第三十六條ノ承諾ヲ拒マレタル者及其ノ承諾ヲ得ルコ  
ト能ハサル物ハ鑛山監督署長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレ  
タリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十一條 鑛業權ノ取消ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利  
ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十二條 土地ノ使用者ハ收用、補償金又ハ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ  
協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ裁決ヲ申請スルコ  
トヲ得

前項ノ裁決中土地ノ使用又ハ收用ニ付不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得  
違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一類 鑛業法



第一項ノ裁決中補償金又ハ擔保ニ付不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十三條 處分又ハ裁決ノ通告書ヲ受ケタル日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

前項ノ期間ハ處分又ハ裁決ノ通告書ヲ受ケサル者ニ付テハ其ノ公示ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八章 罰則

第九十四條 鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ掘採シタル者又ハ詐僞ノ所爲ヲ以テ鑛業權ヲ得タル者ハ二年以下ノ重禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

過失ニ因リ鑛區外ニ侵掘シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條 前條ノ場合ニ於テハ其ノ掘採シタル鑛物ヲ沒收ス既ニ之ヲ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徴ス

第九十六條 第十條第三項若ハ第十一條ノ規定ニ違背シタル者又ハ第七十二條

若ハ第七十四條第一項ノ命令ニ從ハサル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十七條 第四十四條若ハ第四十五條第二項ノ規定ニ違背シタル者、第四十

五條第一項若ハ第七十三條第一項ノ命令ニ從ハサル者又ハ第七十九條若ハ第

八十條ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタル者ハ百五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十八條 第四十六條乃至第四十八條、第七十六條又ハ第七十八條ノ規定ニ違背シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條 第五十三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ障礙物ヲ除却シタル者又ハ

第七十五條ノ規定ニ違背シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

當該官吏ニ對シテ鑛業ニ關スル書類若ハ物件ノ検査ヲ拒ミ又ハ之ヲ妨ケタル者ハ罰前項ニ同シ但シ其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第一百條 第七十七條ノ規定ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百一條 詐僞其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ鑛業稅ヲ免レ又ハ免レムトシタル者ハ

第一類 鑛業法

其ノ脱税金額三倍ニ相當スル罰金ニ處ス

第二百二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタル者ニハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用ヰス

第二百三條 鑛業權者ガ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ鑛業權者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ鑛業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二百四條 鑛業權者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ本法ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス  
本法ニ基キテ發スル命令中別段ノ規定アル場合ヲ除ケル外其ノ命令ニ規定セラル罰則ニ付テモ亦同シ  
第二百五條 前二條ノ場合ニ於テハ禁錮又ハ拘留ノ刑ニ處スルコトヲ得ス

第二百六條 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

附則

第二百七條 本法ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業條例ハ之ヲ廢止ス

第二百八條 鑛業條例ニ依ル試掘ノ認可ハ試掘權ノ登錄ト看做ス

第二百九條 日本坑法ニ依ル借區ノ許可及鑛業條例ニ依ル採掘ノ特許ハ採掘權ノ登錄ト看做ス但シ鑛業條例第四十一條第二項ニ定メタル面積ニ滿タサル鑛區

ニ對スルモノハ其ノ期限ノ到來ニ因リテ消滅ス

第一百十條 本法施行前ニ於ケル官廳所屬ノ採掘區域ハ採掘鑛區トシ本法施行ノ日ニ於テ採掘權ノ登錄ヲ得タルモノト看做ス

第一百十一條 鑛業條例ニ依ル採掘權ノ書入ノ登錄ハ抵當權ノ登錄ト看做ス

第一百十二條 第七十四條ノ規定ハ本法施行前ニ試掘認可又ハ採掘特許ノ消滅シ

第一類 鑛業法

タル場合ニモ之ヲ適用ス但シ一箇年ノ期間ハ其消滅ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第百十三條 日本坑法ニ依リ借區ノ許可ヲ得タル者及鑛業條例ニ依リ試掘ノ認

可又ハ探掘ノ特許ヲ得タル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ明治三十八年

分ノ鑛區稅又ハ其ノ不足額ヲ納付スヘシ其ノ鑛區稅ハ月割ヲ以テ計算ス

第百十四條 明治三十八年分ノ鑛產稅ハ本法施行前ニ得タル鑛產物ニ付テモ之

ヲ課ス

第百十五條 第八十八條ノ規定ハ明治三十八年度分ノ稅ニ限り之ヲ適用セス

第百十六條 鑛業條例ニ依リテ爲シタル處分ノ手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ

相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十七條 本法施行前ニ爲シタル處分ニ對スル訴願、裁定請求、行政訴訟又

ハ民事訴訟ニ關シテハ鑛業條例ノ規定ニ依ル

第百十八條 鑛業條例ニ依リ試掘又ハ探掘ヲ出願シタル鑛區ノ面積ニ付テハ鑛

業條例第四十二條第二項ノ規定ヲ適用ス

第百十九條 明治三十七年十二月三十一日以前ヨリ引續キ重石鑛又ハ水鉛鑛ヲ

掘採スル者ニシテ明治三十八年七月三十一日迄ニ其ノ鑛物探掘ノ特許ヲ出願

スルトキハ其ノ掘採區域ニ限リ第三十一條、第三十三條及鑛區ノ面積ニ關ス

ル第九條ノ規定ニ拘ラス特許ヲ與フヘシ

前項ノ掘採者ニシテ明治三十八年七月三十一日迄ニ其ノ特許ヲ出願シタル者

ハ其ノ指令ノ日迄本法ノ規定ニ拘ラス其ノ掘採ヲ繼續スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ特許ヲ得タル區域ノ面積五千坪未滿ナル場合ニ於テハ其

ノ特許ハ五箇年ヲ經過シタルトキ消滅ス

●鑛業法施行細則

(明治三十八年六月十五日)  
農商務省令第十七號

鑛業法施行細則左ノ通定ム

鑛業法施行細則

第一條 願書、申請書、届書及圖面ハ一件毎ニ之ヲ調製シ様式ノ定アルモノニ

第一類 鑛業法施行細則

付テハ其ノ様式ニ準スヘシ

第二條 農商務大臣又ハ鑛山監督署長ニ差出シタル書面、圖面又ハ標品ニシテ必要ト認ムルモノハ之ヲ返付セス

第三條 鑛業ニ關シ命令又ハ通知ヲ發スル場合ニ於テ受信人ノ住所不分明ナルトキハ十日間其ノ要旨ヲ鑛山監督署ノ揭示場ニ揭示スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ期間滿了ノ日ニ命令又ハ通知ヲ受ケタルモノト看做ス

第四條 本則ノ規定ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ヲ出願セムトスル者、鑛業出願人、鑛業權者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第五條 本則中鑛業ノ出願ニ關スル規定ハ鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正、増減及改正ノ出願ニ付之ヲ準用ス

第六條 書面又ハ圖面不完備ナルトキハ鑛山監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シテ修正又ハ補充ヲ命スルコトヲ得

第七條 書面又ハ圖面ヲ郵便ニテ差出シタルトキハ消印記號ニ記載シタル日時ニ差出シタルモノト看做ス

郵便物受取證ニ依リテ消印記號ニ記載シタル日時外ノ日時ニ差出シタルコトヲ證明シタルトキハ其ノ日時ニ差出シタルモノト看做ス其ノ消印記號ナキ場合又ハ其ノ不明ナル場合ニ於テ郵便物受取證ニ依リテ其ノ差出シタル日時ヲ證明シタルトキ亦同シ

第八條 農商務大臣ニ差出スヘキ書面又ハ圖面ハ鑛山監督署長ヲ經由スヘシ此ノ場合ニ於テハ鑛山監督署長ニ差出シタル日時ヲ以テ差出ノ日時ト看做ス

第九條 同一地域ニ於テ二種以上ノ鑛物ニ付鑛業ヲ爲サムトスル者ハ各種ノ鑛物毎ニ願書ヲ差出スヘシ但シ同一ノ鑛床中ニ存スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十條 鑛業ノ許可ヲ得タル鑛物ノ名稱ヲ更正セムトスルトキハ願書ニ理由書

第一類 鑛業法施行細則

ヲ添附シテ差出スヘシ

第十一條 共同鑛業出願人ハ願書ト共ニ連署シタル代表者選定ノ届書ヲ差出スヘシ

共同鑛業出願人ハ願書ニ代表者ヲ表示シテ前項ノ届出ニ代フルコトヲ得

前二項ノ規定ハ出願人ノ變更、鑛業權ノ設定又ハ移轉ニ因リ鑛業出願人又ハ鑛業權者ト爲ルヘキ者二人以上ナル場合ニ之ヲ準用ス

第十二條 共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者代表者ヲ改定シタルトキハ遲滯ナク連署シテ其ノ旨ヲ届出ヘシ

第十三條 鑛業法第七條第一項ノ規定ニ依リ鑛山監督署長代表者ヲ指定シタルトキハ之ヲ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ニ通知スヘシ

第十四條 鑛業出願人代表者ニ依リテ鑛業出願ノ取下、區域増減ノ出願又ハ出願人變更ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ願書又ハ届書ニ其ノ決議書又ハ之ニ相當

スル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ代表者ニ依リテ鑛區ノ増減、合併又ハ分割ヲ出願スル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 鑛業ニ關スル出願ニシテ鑛利保護上又ハ鑛區分合上出願地及鑛區ノ面積百萬坪ヲ超ユル場合ニ於テハ願書ニ其ノ理由書ヲ添附スヘシ

第十六條 鑛業ノ出願地鑛業法第十條第二項ノ場所ニ係ルトキハ出願ノ日ヨリ三十日以内ニ所轄官廳ノ許可書若ハ許可ヲ受ケタルコトヲ證スル書面又ハ許可ヲ申請シタルコトヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

第十七條 鑛業出願地ノ形狀鑛業ヲ爲スニ不適當ナリト認ムルトキハ鑛山監督署長ハ農商務大臣ノ認可ヲ經相當ノ期限ヲ附シテ出願地ノ増減ヲ命スルコトヲ得

第十八條 鑛業出願人他人ノ鑛區ニ鄰接シテ鑛區ヲ定メムトスルトキハ中間ニ十間以上ノ距離ヲ置クヘシ但シ鄰接鑛業權者ノ承諾ヲ得タルトキ又ハ試掘鑛

第一類 鑛業法施行細則

區ノ範圍内ニ於テ採掘ヲ出願スルトキハ此ノ限ニ在ラス

礦業ノ監督又ハ礦利保護ノ爲前項ノ距離ノ延長又ハ減縮ヲ必要ナリト認ムル  
トキハ礦山監督署長ハ農商務大臣ノ認可ヲ經相當ノ期限ヲ附シテ出願地ノ増  
減ヲ命スルコトヲ得

第十九條 礦業願書ニ添附スヘキ圖面ハ様式第十四號ニ準シテ調製シ左ニ掲ク  
ル事項ヲ明示スヘシ

- 一 出願地ノ名稱及種目
- 二 出願地ノ面積
- 三 南北線
- 四 縮尺
- 五 二箇以上ノ不動基點並其ノ名稱及特徵
- 六 出願地ノ各隅トナルヘキ測點並其ノ番號
- 八 境界線並基點ト連結シタル測點間ノ方位及其ノ間數

八 出願地ヨリ五十間以内ニ於ケル他ノ礦區トノ關係

九 出願地又ハ其ノ附近ニ於ケル鑛床ノ露頭及其ノ走向、傾斜

十 出願地及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他礦業法第十條又ハ第十一條ニ記載

シタルモノ

前項ノ圖面ニハ其ノ出願地ヲ實測シタル測量者ヲシテ之ニ署名捺印セシムヘ

シ但シ鑛山監督署ニ於テ實測シタル圖面ニ適合スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 採掘出願人ハ其ノ願書ニ採掘セムトスル鑛物ノ鑛床ニ關スル説明書

ヲ添附スヘシ

第二十一條 試掘又ハ採掘ノ願書及出願地又ハ鑛區ノ増減ノ願書ハ書留郵便ヲ

以テ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ發送郵便局ヨリ受附ノ年月日及時刻ヲ記載シタル受取證

ヲ請置クヘシ

第二十二條 鑛山監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シ出願人ニ鑛業ノ設備ニ關スル設

第一類 鑛業法施行細則

計畫ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第二十三條 出願地ノ實測ニ關スル事實ヲ認定スル爲必要アリト認ムルトキハ  
鑛山監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シ測量者ノ署名捺印シタル原圖、野帳又ハ其  
ノ寫其ノ他測量ノ事實ヲ證スヘキ書類ノ提出ヲ出願人ニ命スルコトヲ得

第二十四條 鑛山監督署長ハ鑛業ニ關スル出願又ハ鑛區ニ付實地調査ヲ必要ト  
認ムルトキハ調査事項及調査期日ヲ指定シ出願人又ハ鑛業權者ニ立會ヲ命ス  
ルコトヲ得若シ調査期日ヲ指定スルコト能ハサルトキハ豫定期日ヲ定メ確定  
期日ハ出張吏員ノ指定ニ依ルヘキコトヲ命スヘシ

出張吏員カ確定期日ヲ指定スルトキハ少クトモ三日前ニ之ヲ通知スヘシ但シ  
出願人又ハ鑛業權者ニ於テ異議ナキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 鑛業出願人變更ノ届書ニハ新舊出願人連署スヘシ  
第二十六條 相續ニ因リテ鑛業出願人ト爲ル者又ハ氏名、名稱若ハ住所ヲ  
變更シタル鑛業出願人ハ戶籍吏ニ届出タル日又ハ登記ノ日ヨリ十四日以内ニ

其ノ事實ヲ證スヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第二十七條 共同鑛業出願人脱退シタルトキハ代表者ハ脱退ノ日ヨリ十日以内

ニ其ノ原由ヲ證スル書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第二十八條 採掘出願地ノ訂正願書ニハ訂正理由書ヲ添附スヘシ

第二十九條 採掘出願地ノ訂正又ハ鑛業出願地ノ増減ノ願書ニ添附スヘキ圖面

ニハ新舊出願地ノ關係ヲ明示スヘシ

第三十條 鑛業法第三十三條第二項ノ規定ニ依ル抽籤ハ關係鑛業出願人立會ノ

上鑛山監督署長之ヲ行フ

鑛山監督署長ハ抽籤ノ日時ヲ定メ少クトモ十四日前ニ關係鑛業出願人ニ通知  
スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル鑛業出願人抽籤日時ニ出頭セサルトキハ鑛山監督署長  
ハ二名以上ノ鑛山監督署職員立會ノ上之ヲ行フ

第三十一條 鑛區ノ合併又ハ分割ノ願書ニハ理由書ヲ添附シ且之ニ添附スヘキ

第一類 鑛業法施行細則

圖面ニハ合併又ハ分割スヘキ區域ノ關係ヲ明示スヘシ但シ分割ノ願書ニ添附スヘキ圖面ハ各區域毎ニ之ヲ調製スヘシ

鑛業法第三十五條第二項ノ規定ニ依ル抵當權者ノ承諾書及抵當權ノ順位ニ關スル協定書ハ合併又ハ分割ノ願書ニ之ヲ添附スヘシ

第三十二條 鑛業法第三十六條ノ規定ニ依ル鑛區訂正ノ願書ニハ鑛床圖、其ノ説明書及鄰接鑛業權者ノ承諾書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第三十三條 鑛區訂正ノ願書ニ關シテハ第二十八條ノ規定ヲ準用ス

第三十四條 鑛區ノ訂正、増減又ハ改正ノ願書ニ關シテハ第二十九條ノ規定ヲ準用ス

第三十五條 鑛業法第三十七條第三項ノ規定ニ依ル減區又ハ増減區ノ願書ニハ抵當權者ノ承諾書ヲ添ヘテ差出スヘシ

第三十六條 鑛業ノ出願許可スヘキモノト決定シタルトキハ鑛山監督署長ハ其ノ旨ヲ出願人ニ通知スヘシ

出願人ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ登録ヲ申請スヘシ

第三十七條 鑛區ノ境界又ハ面積カ鑛區圖ト相違スルコトヲ發見シタルトキハ鑛山監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シテ鑛業權ノ表示ノ變更ヲ命スルコトヲ得此

ノ場合ニ於テハ命令書ニ調査圖ヲ添附スヘシ

第三十八條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督署長ハ願書、申請書又ハ届書ヲ受理セ

ス  
一 試掘又ハ探掘出願地ノ全部カ所轄鑛山監督署ノ管轄區域内ニ在ラサルト

キ  
二 出願ノ鑛物カ鑛業法第二條ノ規定ニ該當セサルトキ

三 鑛業ノ願書ニ圖面ヲ添附セサルトキ

四 手数料ヲ納付セサルトキ

五 第十條、第十五條、第二十八條、第三十一條又ハ第三十三條ノ規定ニ違

第一類 鑛業法施行細則



背シ理由書ヲ添附セサルトキ

- 六 第十四條ノ規定ニ違背シ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附セサルトキ
- 七 第二十一條ノ規定ニ違背シ書留郵便ヲ以テ差出ササルトキ
- 八 第二十五條ノ規定ニ違背シ新舊出願人連署セサルトキ
- 九 第三十一條第二項ノ規定ニ違背シ承諾書及協定書ヲ添附セサルトキ
- 十 第三十二條又ハ第三十五條ノ規定ニ違背シ承諾書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附セサルトキ

第三十九條 左ノ場合ニ於テハ願書又ハ届書ヲ却下ス

- 一 實地調査ノ際出願人カ出願區域ヲ明示スルコト能ハサルカ又ハ第二十四條第一項ノ規定ニ依リテ指定シタル調査事項ノ説明ヲ爲スコト能ハサルトキ
- 二 出願人ノ指示スル區域カ願書ニ添附シタル圖面ト著シク相違スルトキ
- 三 第六條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササルトキ

四 第十六條ニ規定シタル期間内ニ許可書又ハ證明書ヲ差出ササルトキ

五 第十七條又ハ第十八條第二項ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ區域増減ノ願書ヲ差出ササルトキ

六 第二十二條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ設計書ヲ差出ササルトキ

七 第二十三條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ原圖、野帳若ハ其ノ寫又ハ測量ノ事實ヲ證スヘキ書類ヲ差出ササルトキ

八 第二十四條ノ規定ニ依リテ指定シタル期日ニ出願人立會ヲ爲ササルトキ

九 第三十六條ニ規定シタル期間内ニ登録申請書ヲ提出シ又ハ郵便ニ附セサルトキ

十 第七十九條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ協定書ヲ差出ササルトキ

第四十條 相續ニ因リテ鑛業權者ト爲リタル者又ハ氏名、名稱若ハ住所ヲ變更シタル鑛業權者ハ戶籍吏ニ届出タル日又ハ登記ノ日ヨリ十四日以内ニ其ノ登

第一類 鑛業法施行細則

録ヲ申請スヘシ

第四十一條 鑛業權者鑛業ニ著手シタルトキハ遲滯ナク鑛區所在地又ハ其ノ附近ニ鑛業事務所ヲ定メ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第四十二條 試掘權者ハ試掘鑛區圖及試掘工程表ヲ、探掘權者ハ坑内實測圖及鑛業簿ノ外探掘鑛區圖及鑛業施業案ヲ鑛業事務所ニ備置クヘシ

第四十三條 鑛業權者ハ鑛業權ノ設定若ハ移轉ノ登録アリタル日ヨリ六箇月以内ニ事業ニ著手セス又ハ六箇月以上休業セムトスルトキハ理由ヲ詳記シテ鑛

山監督署長ニ届出ヘシ

休業期間内ニ事業ニ著手シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第四十四條 鑛業施業案ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ之ヲ説明スヘキ圖面ヲ添ヘ鑛業ニ著手ノ日ヨリ三十日以前ニ差出スヘシ

一 鑛床ニ關スル事項

主要ナル鑛床ノ位置、幅(又ハ厚サ)、走向、傾斜等

主要ナル斷層ノ位置及其ノ鑛床ニ及ホス影響

主鑛物及副鑛物ノ種類並其ノ品位

母岩ノ種類及其ノ性質殊ニ其ノ開鑿、支柱等ノ工事ニ及ホス影響

二 探鑛及開坑ニ關スル事項

目的トスル鑛床ノ位置及探鑛ノ順序、方法

新設スヘキ豎坑、斜坑又ハ横坑ノ位置、方向、大サ、延長、落成期間、

開鑿ノ方法及其ノ目的竝坑口ニ於ケル裝置

通氣、排水及運搬ノ方法

使用人員及原動力

水、瓦斯、磐石等ニ原因スル換業上危險ノ有無及其ノ豫防方法

三 探鑛ニ關スル事項

目的トスル鑛床ノ位置、名稱及其ノ探掘ノ順序、方法

第一類 鑛業法施行細則

粗鑛量並其ノ最低品位及平均品位

坑水及捨石ノ量、其ノ品質及處置

通氣、排水及運搬ノ方法

使用人員及原動力

水、瓦斯、磐石等ニ原因スル操業上危險ノ有無及其ノ豫防方法

四 選鑛ニ關スル事項

選鑛ノ順序、方法

精鑛ノ種類、其ノ量及品位並粗鑛量

廢水及鑛滓ノ量、其ノ品質及處置

使用人員及原動力

五 製鍊ニ關スル事項

製鍊ノ順序、方法

精鑛量並製產物ノ種類及其ノ量

煙、廢水及鑛滓ノ量、其ノ品質及處置

使用人員及原動力

鑛業ノ種類又ハ狀況ニ依リ前項ノ規定ニ依リ難キモノアルトキハ理由ヲ明示

シ前項ノ記載事項ヲ増減スルコトヲ得

第四十五條 鑛山監督署長ハ鑛業法第四十五條第一項ノ規定ニ依リ施業案ノ變

更ヲ命スルニハ少クトモ三十日以上ノ期限ヲ附スヘシ

第四十六條 鑛業法第四十五條第二項ノ規定ニ依ル變更願書ニハ新ナル施業案

及變更ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添附スヘシ

第四十七條 坑内實測圖ハ平面圖及截面圖ノ二種トシ少クトモ毎月未ニ於ケル

掘進ノ狀況ヲ測定シ翌月中ニ調製スヘシ

坑内實測圖ノ複本ハ毎年六月末日及十二月末日迄ノ分ヲ各八月末日及二月末

日迄ニ差出スヘシ但シ鑛山ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ鑛山監督署長ハ

農商務大臣ノ認可ヲ經其ノ提出期又ハ提出回数ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第一類 鑛業法施行細則

前項ノ規定ニ依リテ差出シタル前期ノ坑内實測圖複本ハ請求ニ因リ之ヲ下付ス

第四十八條 鑛業簿ニハ鑛產物ノ數量、其ノ販賣高、販賣代價、行業日數及工數ヲ記載スヘシ

鑛業簿ノ複本ハ毎年六月末日及十二月末日迄ノ分ヲ各七月末日及二月末日迄ニ差出スヘシ

第四十九條 前二條ノ規定ニ依リテ調製シ若ハ差出スヘキ書類又ハ圖面ハ採掘權ノ消滅又ハ移轉ノ場合ニハ採掘權ヲ有セシ者ニ於テ其ノ登録ノ日ヨリ三十日以内ニ調製シ若ハ差出スヘシ

第五十條 鑛業明細表ハ毎年一月末日迄ニ其ノ前年ニ於ケル鑛產物ノ數量、其ノ販賣高、販賣代價、行業日數及工數ヲ記載シテ差出スヘシ

第五十一條 前條ノ規定ニ依リテ差出スヘキ書類ハ鑛業權ノ消滅又ハ移轉ノ場合ニハ鑛業權ヲ有セシ者ニ於テ其ノ登録ノ日ヨリ三十日以内ニ差出スヘシ

第五十二條 前五條ノ規定ニ依リ坑内實測圖若ハ鑛業簿ノ複本又ハ鑛業明細表ヲ差出スヘキ場合ニ於テ記載スヘキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ届出ヘシ

第五十三條 二箇以上ノ鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ニ於テハ第四十四條及第四十六條乃至第五十一條ノ書類又ハ圖面ハ合併シテ之ヲ調製スルコトヲ得

第五十四條 鑛業權者自ラ鑛業ヲ管理セサルトキハ鑛業代理人ヲ選任シ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

前項ノ代理人ハ鑛業法及鑛業法ノ施行ニ關スル命令ノ規定ニ依リテ鑛業ノ管理ニ關シ鑛業權者ノ爲スヘキ一切ノ手續其ノ他ノ行爲ヲ委任セラレタルモノト看做ス但シ鑛業權者ハ其ノ代理權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ届出ヘシ

第五十五條 試掘權者ハ試掘工程表ヲ調製シテ一箇月毎ニ開坑ニ關スル狀況、鑛產物ノ數量、行業日數及工數ヲ記載スヘシ

第五十六條 試掘ニ依リテ得タル鑛產物ヲ處分セムトスルトキハ其ノ方法及數

第一類 鑛業法施行細則

量ヲ記載シ鑛山監督署長ニ出願スヘシ

第五十七條 鑛業法第四十九條ノ規定ニ依ル實地調査ノ願書ニハ調査區域及其ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添付スヘシ

鑛山監督署長調査ヲ要スルモノト認メタルトキハ調査日數並之ニ要スル人夫及物品ノ豫定書ヲ調製シ出願人ニ交付スヘシ

出願人ハ人夫及物品ヲ準備シ現場ニ立會フヘシ

第五十八條 鑛業法第五十二條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ檢査ヲ爲サムトスル者ハ土地ノ名稱、種目及其ノ目的ヲ記載シタル願書ヲ差出スヘシ

第五十九條 鑛業法第五十三條ノ規定ニ依リテ障碍物ヲ除却セムトスル者ハ障碍物ノ種類、名稱、存在ノ場所、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱並豫定價額ヲ記載シタル願書ヲ差出スヘシ

第六十條 鑛業法第五十四條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用

セムトスル者ハ土地ノ名稱、占有者ノ氏名又ハ名稱及其ノ目的ヲ記載シテ出願スヘシ

前項ノ出願ハ電信ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得

本條ノ出願ニ對シ電信ヲ以テ指令ヲ受ケムトスル者ハ土地ノ名稱、占有者ノ氏名又ハ名稱及立入り又ハ使用ノ目的ヲ記スルニ相當スル電信料ヲ前納スヘシ

第六十二條 鑛業法第五十二條乃至第五十四條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入り、之ヲ使用シ又ハ障碍物ヲ除却セムトスル者ハ鑛山監督署長ノ許可證ヲ携帶スヘシ

第六十二條 鑛業法第五十六條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ヲ使用セムトスル者ハ土地ノ名稱、種目、所有者ノ氏名又ハ名稱、住所、使用ノ目的、時期及期間ヲ記載シタル願書ニ土地登記謄本、關係地實測圖及工事設計書ヲ添ヘテ差出スヘシ

第六十三條 鑛業權者鑛業法ノ規定ニ基キテ他人ノ土地ニ關スル權利ヲ取得シ

第一類 鑛業法施行細則

二百五十五

タルトキ、使用ヲ始メタルトキ、使用ヲ終リタルトキ又ハ使用セサルニ至リタルトキハ直ニ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

前項ノ權利取得ニ關スル届書ニハ土地ノ名稱、種目、所有者ノ氏名又ハ名稱、住所、使用ノ目的、時期及期間ヲ記載スヘシ

第六十四條 鑛業法第七十五條ノ規定ニ依リテ定ムヘキ鑛夫ノ雇傭及勞役ニ關スル規則ニハ左ニ掲ケル事項又ハ之ニ相當スヘキ事項ヲ定メ鑛業ニ著手ノ日ヨリ三十日以前ニ差出シテ許可ヲ受ケヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

- 一 業務ノ種類、等級
- 二 雇傭及解雇
- 三 各種類及各等級ニ於ケル賃金
- 四 賃金支拂期日
- 五 各種類ノ就業時間並其ノ交替ノ方法
- 六 休業日其ノ他休業ニ關スル事項

七 年齢及婦女幼者ノ勞役ニ關スル制限

八 賞罰ノ定アルトキハ其ノ事項

第六十五條 鑛夫名簿ハ鑛業ニ著手ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ調製シ鑛夫ノ氏名、生年月日、本籍、履歴ノ要領、業務ノ種類、等級、雇傭及解雇ノ年月日並雇傭期間ヲ記載スヘシ

前項ノ事項ニ異動アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ記入スヘシ

第六十六條 鑛業法第八十條ノ規定ニ依ル扶助ニ付テハ左ノ標準ニ依リ扶助規則ヲ定メ鑛業ニ著手ノ日ヨリ三十日以前ニ之ヲ差出シ鑛山監督署長ノ許可ヲ受ケヘシ

- 一 診察費及治療費ハ其ノ實額
  - 二 療養ノ爲休業中ハ其ノ日數ニ相當スル賃金額ノ三分ノ一以上
  - 三 葬祭料ハ十圓以上
  - 四 遺族扶助料ハ死者ノ受ケタル賃金百分以上ニ相當スル金額
- 第一類 鑛業法施行細則
- 二百五十七

五 不具癡疾者扶助料ハ其ノ賃金ノ百分以上ニ相當スル金額

稼高ニ依リテ賃金ヲ定ムル場合ニ於テハ前項第二號、第四號及第五號ニ記載シタル賃金ハ前三十日間ノ就業平均額ニ依リテ之ヲ定ムヘシ

第六十七條 鑛業權者ハ便宜ノ方法ヲ以テ鑛業法中鑛夫ニ關スル規定、鑛夫ノ雇傭勞役ニ關スル規則及扶助規則ヲ鑛夫ニ告知スヘシ

第六十八條 鑛業法第九十條第一項又ハ第九十二條第一項ノ規定ニ依ル申請書

ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ請求地ニ於ケル工事又ハ鑛床ノ關係圖並所有者及關係人又ハ鄰接鑛業權者ト交添シタル始末書ヲ添附スヘシ

一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所

二 所有者及關係人又ハ鄰接鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所

三 鑛業權ノ登録番號

四 申請ノ目的及理由

鑛山監督署長前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ所有者及關係人又ハ鄰接

鑛業權者ニ交付スヘシ

所有者及關係人又ハ鄰接鑛業權者ハ申請書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ答辯書ヲ差出スヘシ

所有者及關係人又ハ鄰接鑛業權者前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ鑛山監督署長ハ申請書ノミニ依リテ裁決スルコトヲ得

申請人第六條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササルトキハ申請書ヲ却下ス

裁決書ニハ理由ヲ附シテ鑛山監督署長之ヲ申請人、所有者及關係人、鄰接鑛業權者ニ交付スヘシ

第六十九條 鑛業法第九十條第二項又ハ第九十二條第二項ノ規定ニ依ル訴願ニハ鑛山監督署長ノ與ヘタル裁決書ノ謄本ヲ添ヘテ差出スヘシ

前條ノ規定ハ前項ノ訴願ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十條 鑛業法第八十九條、第九十條第二項、第九十一條及第九十二條第二

第一類 鑛業法施行細則

項ノ規定ニ依リテ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起シタル者ハ七日以内ニ其ノ旨ヲ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第七十一條 鑛業法第九十三條第二項ノ規定ニ基ク處分又ハ裁決ノ公示ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス但シ第三十九條ノ規定ニ依ル却下ニ付テハ鑛山監督署ノ揭示場ニ揭示スルコトニ依リテ之ヲ爲ス

第七十二條 第二十六條、第二十七條、第四十條乃至第四十三條、第四十九條、第五十一條、第五十二條、第五十五條、第六十一條、第六十三條、第六十七條、第七十條、第八十一條、第八十六條及第八十七條ノ規定ニ違背シタル者、第二十四條ノ規定ニ基ク指定ノ期日ニ立會ハス若ハ調査事項ノ説明ヲ爲ササル者、第三十七條ノ規定ニ依リテ命セラレタル期限内ニ登録申請ヲ爲ササル者又ハ第六十六條、第九十條ノ規定ニ依ル扶助規則ヲ差出ササル者若ハ第八十九條ノ規定ニ依リ扶助規則ヲ改定セサル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス  
第七十三條 第五十四條ノ規定ニ依リテ鑛業代理人ヲ定メタル場合ニハ鑛業權

者・法定代理人又ハ法人ニ適用スヘキ本則ノ罰則ハ之ヲ鑛業代理人ニ適用ス

第七十四條 本則ハ第七十二條ノ規定ヲ除クノ外國ノ鑛業ニ之ヲ準用ス

附則

第七十五條 本則ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十六條 鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務省令及農商務省告示ハ本則施行ノ

日ヨリ之ヲ廢止ス

第七十七條 鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務省令及農商務省告示ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本則中ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本則ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十八條 本則施行前ニ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ニシテ鑛業法及本則中ニ別段ノ定ナキモノニ付テハ鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務省令及農商務省告示ノ規定ヲ適用ス

第七十九條 鑛業條例第四十六條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル出願ニシテ抵

第一類 鑛業法施行細則



當權者ノ承諾書ヲ添ヘタルモノニ付テハ鑛山監督署長ハ相當ノ期限ヲ附シテ  
抵當權ノ順位ニ關スル協定書ヲ差出サシムルコトヲ得

第八十條 本則施行前ニ明治三十二年農商務省令第三號ノ規定ニ依リテ鑛業總  
代人ト看做サレタル者ハ本則ノ規定ニ依リテ定メタル代表者ト看做ス

第八十一條 本則施行前ヨリ引續キ鑛業ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ十日以内  
ニ鑛區所在地又ハ其ノ附近ニ鑛業事務所ヲ定メ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第八十二條 本則施行前試掘ノ認可又ハ探掘ノ特許ヲ得タル者ニ付テハ第四十  
三條ノ期間ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八十三條 本則施行前ヨリ引續キ探掘ヲ爲ス者ハ明治三十八年十一月末日迄  
ニ第四十四條ノ規定ニ依リテ調製シタル施業案ヲ差出スヘシ

第八十四條 明治三十二年農商務省令第三號ノ規定ニ依ル鑛業代理人ハ本則ノ  
規定ニ依ル鑛業代理人ト同一ノ權限ヲ委任セラレタルモノト看做ス

第八十五條 鑛業條例第四十八條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ヲ使用スル者ハ本則

施行ノ日ヨリ九十日以内ニ土地ノ名稱、種目及使用ノ目的ヲ記載シタル届書

ニ關係地實測圖、工事設計書及使用ノ權利ヲ證スル書面ヲ添ヘテ差出スヘ

シ

第八十六條 鑛業條例第六十四條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ得タル鑛夫使役規  
則中第六十四條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスルモノアルトキハ探

掘權者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ改定シテ許可ヲ受クヘシ

第八十七條 鑛業條例第七十條ノ規定ニ依リテ調製シタル鑛夫名簿中第六十五  
條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスルモノアルトキハ本則施行ノ日ヨ

リ六十日以内ニ之ヲ改定スヘシ

第八十八條 本則施行前ヨリ引續キ試掘ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以  
内ニ第六十五條ノ規定ニ依リテ鑛夫名簿ヲ調製スヘシ

第八十九條 鑛業條例第七十二條ノ規定ニ依リ認可ヲ得タル鑛夫救恤規則中第

六十六條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスルモノアルトキハ探掘權者

第一類 鑛業法施行細則

ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ改定シテ許可ヲ受クヘシ但シ改定前ニ扶助ヲ必要トスル場合ニ於テハ其ノ給與金額ハ第六十六條ニ定メタル最低額ヲ下ルコトヲ得ス

第九十條 本則施行前ヨリ引續キ試掘ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ第六十六條ノ規定ニ依リテ扶助規則ヲ差出シ許可ヲ受クヘシ

第九十一條 鑛業法第百十九條ノ規定ニ依ル願書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 事業ノ現状ヲ詳記セル書類

二 明治三十七年十二月三十一日以前ヨリ引續キ出願鑛物ヲ採取スルコトヲ

證スル書類

(様式略ス)

●鑛業登録令

(明治三十八年六月十九日勅令第百八十三號)

朕鑛業登録令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

鑛業登録令

第一章 總則

第一條 鑛業ニ關スル登録ハ鑛山監督署ニ於テ之ヲ爲ス

第二條 同一ノ鑛業權ニ關シテ登録シタル權利ノ順位ニ付法令ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ順位ハ登録ノ前後ニ依ル

第三條 附記登録ノ順位ハ主登録ノ順位ニ依ル但シ附記登録間ノ順位ハ其ノ前後ニ依ル

第四條 假登録ヲ爲シタルモノニ付本登録ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ順位ハ假登録ノ順位ニ依ル

第二章 鑛業原簿

第五條 鑛業原簿ハ試掘原簿、採掘原簿ノ二種トス

共同鑛業權者ニ付テハ共同人名簿、鑛區圖ニ付テハ鑛區圖綴込帳ヲ設ケ鑛業原簿ノ一部トス

第一類 鑛業登録令

第六條 何人ト雖手数料ヲ納付シテ鑛業原簿ノ謄本、抄本ノ交付ヲ請求シ又ハ鑛業原簿若ハ其ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得  
手数料ノ外郵便切手ヲ納付シテ鑛業原簿ノ謄本、抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得

第七條 鑛業原簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テ其ノ調製ニ關スル手續ハ農商務大臣之ヲ定ム

前項ニ依リテ調製シタル原簿ハ滅失前ノ鑛業原簿ト看做ス

第八條 前條鑛業原簿ノ調製ヲ終リタルトキハ其ノ登録ノ謄本又ハ抄本ヲ登録名義人ニ交付スルコトヲ要ス

第三章 登録手續

第一節 通則

第九條 登録ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外申請、囑託又ハ命令アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

囑託又ハ命令ニ因ル登録ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外申請ニ因ル登録ニ關スル規定ヲ準用ス

第十條 登録ハ登録權利者及登録義務者又ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留郵便ヲ以テ申請スルコトヲ要ス

第十一條 判決又ハ相續ニ因ル登録ハ登録權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第十二條 登録名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ハ登録名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第十三條 左ノ登録ニ付テハ官廳又ハ公署ハ囑託書ニ登録原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ囑託スルコトヲ要ス

一 處分ノ制限ノ登録

二 公賣處分ニ因ル鑛業權移轉ノ登録

第十四條 鑛業權ヲ取消シタルトキ又ハ取消處分ノ取消ヲ爲シタルトキハ農商務第一類 鑛業登録令

務大臣ハ其ノ登録ヲ命スルコトヲ要ス

第十五條 登録ヲ申請スルニハ左ノ書類ヲ提出スルコトヲ要ス

一 申請書

二 登録原因ヲ證スル書面

三 登録原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面

書面

四 代理人ニ依リテ登録ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面

申請力礦業權ノ設定、變更其ノ他礦業權ノ表示ノ變更又ハ更正ニ關スルトキハ前項第二號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セス

登録原因ヲ證スル書面ヲ執行力アル判決ナルトキハ第一項第三號ニ掲ケタル書面ヲ提出スルコトヲ要セス

國、法人ノ代表者又ハ共同礦業ノ代表者ニ依リテ申請スル場合ニ於テハ第一項第四號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セス

第十六條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一 礦區所在地

二 礦業權ノ登録番號

三 申請人ノ氏名及住所

四 代理人又ハ代表者ニ依リテ申請スルトキハ本人ノ氏名又ハ名稱及住所

五 登録原因及其ノ日附

六 登録ノ目的

七 年月日

申請力礦業權ノ設定又ハ第三十條第二項ノ規定ニ依ル抵當權ノ設定ニ關スルトキハ前項第二號ノ記載ヲ要セス

申請力礦業權ノ設定、變更其ノ他礦業權ノ表示ノ變更又ハ更正ニ關スルトキハ第一項第五號ノ記載ヲ要セス

第十七條 左ノ場合ニ於テハ申請人ハ申請書ニ其ノ事實ヲ證スル戶籍ノ謄本又

第一類 礦業登録令

二百六十九

ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

一 申請人カ相續人ナルトキ

二 登録名義人カ其ノ表示ノ變更ノ登録ヲ申請スルトキ

三 死亡ニ因ル共同鑛業權者脱退ノ登録ヲ申請スルトキ

第十八條 申請書ニ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其ノ第三者ヲシテ申請書ニ署名捺印セシメテ其ノ書面ニ代フルコトヲ得

第十九條 同一鑛山監督署ノ管轄ニ屬スル數箇ノ鑛區ニ關シ抵當權ノ設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ登録原因及登録ノ目的方同一ナルトキニ限り同一ノ申請書ヲ以テ登録ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ鑛業權又ハ抵當權ノ處分ノ制限ノ登録ヲ囑託スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 登録ハ受附ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲スエトヲ要ス

第二十一條 左ノ場合ニ於テハ登録ノ申請ハ之ヲ受理セス

一 事件カ管轄ニ屬セザルトキ

二 事件カ登録スヘキモノニ非ザルトキ

三 當事者カ出頭セス又ハ申請書ヲ書留郵便ヲ以テ差出サザルトキ

四 申請書カ方式ニ適合セザルトキ

五 申請書ニ掲ケタル鑛業權又ハ抵當權ノ表示カ鑛業原簿ト抵觸スルトキ

六 第十七條第一號ノ場合ヲ除クノ外申請書ニ掲ケタル登録義務者及共同鑛業代表者ノ表示カ鑛業原簿ト符合セザルトキ

七 申請書ニ掲ケタル事項カ登録原因ヲ證スル書面ト符合セザルトキ

八 申請ニ必要ナル書面又ハ圖面ヲ提出セザルトキ

九 登録稅ヲ納付セザルトキ

第二十二條 登録名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登録又ハ共同鑛業權者脱退ノ登録ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

第一類 鑛業登録令

第二十三條 行政區畫又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ鑛業原簿ニ記載シタル行政區畫又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

第二十四條 登録ヲ完了シタル後其ノ登録ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ旨ヲ登録權利者及登録義務者ニ通知スルコトヲ要ス

錯誤又ハ遺漏カ鑛業權ノ表示ニ關スル登録ニ係ルトキハ更正ノ登録ヲ爲シタル後前項ノ通知ヲナスコトヲ要ス

錯誤又ハ遺漏カ前項以外ノ登録ニ係ルトキハ登録更正ノ申請アリタル場合ニ於テ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ナキトキ又ハ申請書ニ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書若ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限り附記ニ依リ更正ノ登録ヲ爲ス

第二十五條 抹消シタル登録ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十六條 申請書其ノ他登録ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫明瞭ナルコトヲ要ス

金錢其ノ他ノ物ノ數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、拾ノ文字ヲ用ルコトヲ要ス

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正ヲ挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ尙讀得ヘキ爲字體ヲ存スルコトヲ要ス

第二節 鑛業權ニ關スル登録手續

第二十七條 命令ニ因ル鑛業權ノ表示ノ變更又ハ鑛業ニ關スル出願ノ許可ニ因ル申請ハ登録權利者ニ於テ之ヲ爲シ申請書ニ鑛物ノ名稱及鑛區ノ面積ヲ記載シ且鑛山監督署長ノ命令書又ハ許可ニ關スル通知書ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十八條 死亡、破産又ハ禁治産ニ因ル共同鑛業權者脱退ノ登録ハ登録權利者又ハ登録義務者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第一類 鑛業登録令

二百七十三

第二十九條 鑛區之合併又ハ分割ニ因ル採掘權設定及減區又ハ増減區ニ因ル鑛業權變更ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テ合併、分割又ハ減少前ノ鑛業權ニ付登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ第二十五條ノ規定ヲ準用ス但シ鑛區ノ分合又ハ増減ノ願書ト共ニ承諾書ヲ差出シタルモノニ付テハ申請書ニ其ノ事由ヲ記載スルヲ以テ足ル

第三十條 鑛業法第三十五條第二項ノ場合ニ於テ採掘權設定ノ登録ノ申請アリタルトキハ其ノ旨ヲ抵當權者ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ抵當權者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ抵當權設定ノ登録ヲ申請スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ抵當權ノ順位ハ協定ノ順位ニ依ル前二項ノ申請ニ付テハ最後ニ通知ヲ受ケタル者ニ對スル前項ノ期間滿了ノ日ニ於テ其ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス

第三節 抵當權ニ關スル登録手續

第三十一條 鑛業法第三十五條第二項ニ基キ爲シタル承諾及協定ニ因ル抵當權

設定ノ登録ハ登録權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第三十二條 抵當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登録原因ニ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、其ノ發生期若ハ支拂時期ノ定アルトキ又ハ債權ニ條件ヲ附シタルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十三條 抵當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テ設定者カ債務者ニ非サルトキハ申請書ニ債務者ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

抵當權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ抵當權カ債權ト共ニ移轉スルヲ否ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十四條 一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル抵當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ債權ノ價格ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十五條 債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル抵當權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スルコト

第一類 鑛業登録令

ヲ要ス

第三十六條 抵當權ノ變更ノ登録ヲ爲スニ付登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者  
アル場合ニ於テハ第二十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第三十七條 抵當權ノ移轉、順位ノ變更ニ因ル抵當權ノ變更及其ノ處分ノ制限  
ノ登録ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

第四節 抹消ニ關スル登録手續

第三十八條 期限ノ滿了ニ因リ礦業權カ消滅シタルトキハ其ノ原因ヲ記載シ抹  
消ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス

第三十九條 廢業ニ因ル礦業權消滅ノ登録ハ登録權利者ノミニテ之ヲ申請スル  
以下ヲ得

第四十條 礦區ノ合併又ハ分割ニ因ル採掘權設定ノ登録ヲ爲シタルニ因リ其ノ  
合併又ハ分割前ノ採掘權消滅シタルトキハ其ノ原因ヲ記載シテ抹消ノ登録ヲ  
爲スコトヲ要ス

第四十一條 抵當權ノ登録アル採掘權ニ關シ廢業ニ因ル抹消ノ申請アリタルト  
キハ抹消ノ登録ヲ爲スト同時ニ競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スル旨ヲ記  
載スルコトヲ要ス

抵當權者競賣ノ請求ヲ爲ササルトキ又ハ競賣申立ノ登録アリタル場合ニ於テ  
其ノ登録抹消ノ囑託アリタルトキハ其ノ旨ヲ登録シタル後存續ニ關スル記載  
ヲ抹消スルコトヲ要ス

第四十二條 前條ノ規定ハ礦業法第三十八條第一項及第三十九條ノ規定ニ依ル  
場合ヲ除クノ外抵當權ノ登録アル採掘權取消ニ因ル抹消ノ命令アリタル場合  
ニ之ヲ準用ス

第四十三條 抵當權カ人ノ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其ノ死  
亡ヲ證スル戸籍ノ謄本其ノ他之ニ相當スル書面ヲ添附スルトキハ登録權利者  
ノミニテ登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四十四條 登録權利者カ登録義務者ノ行方ノ知レサルニ因リ之下共ニ登録ノ

第一類 礦業登録令



抹消ヲ申請スルコト能ハサルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ公示催告ノ申  
立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ謄本ヲ添附シ登録權  
利者ノミニテ登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書並債權及最後ノ二年分ノ定期金ノ受取  
證書ヲ添附シタルトキハ登録權利者ノミニテ抵當權ニ關スル登録ノ抹消ヲ申  
請スルコトヲ得

第四十五條 廢業ニ因ル場合ヲ除クノ外登録ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ  
抹消ニ付登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ第二十五條ノ規定ヲ準  
用ス

第四十六條 第十三條ノ規定ニ依リ公賣處分ニ因ル鑛業權移轉ノ登録ノ囑託ア  
リタル場合ニ於テハ處分ノ制限ノ登録ヲ抹消シ若シ抵當權ノ登録アルトキハ  
其ノ登録ヲ抹消スルコトヲ要ス

第四章 假登録及豫告登録

第四十七條 假登録ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲スモノトス

- 一 鑛業權ノ移轉又ハ抵當權ノ設定、移轉、變更若ハ消滅ノ登録ノ申請ニ必  
要ナル手續上ノ條件カ具備セサルトキ
- 二 前號ノ事項ニ關シ請求權ヲ保全セムトスルトキ

第四十八條 假登録ハ次條ノ場合ヲ除クノ外假登録權利者ノ申請ニ因リ其ノ目  
的タル鑛區ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヨリ囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添  
附シテ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ假處分命令ハ假登録權利者カ假登録原因ヲ説明シタルトキハ區裁判所  
之ヲ發スルコトヲ要ス

申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第四十九條 假登録ハ假登録義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書ヲ添  
第一類 鑛業登録令

附シテ假登録権利者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第五十條 假登録ノ抹消ハ假登録名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

申請書ニ假登録名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ登録上ノ利害關係人ヨリ假登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第五十一條 豫告登録ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲スモノトス

一 登録原因ノ無効又ハ取消ニ因ル登録ノ抹消又ハ回復ノ訴訟ノ提起アリタルトキ但シ登録原因ノ無効又ハ取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル

二 礦業法第八十九條ノ規定ニ依リ礦業權ニ關スル出願ノ許可ニ對シ訴願又ハ行政訴訟ノ提起アリタルトキ

第五十二條 豫告登録ハ前條ニ掲ケタル訴訟又ハ訴願ヲ受理シタル官廳ヨリ囑託書又ハ命令書ニ訴狀若ハ訴願書ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ囑託又ハ命令ス

ルコトヲ要ス

第五十三條 第五十一條第一號ニ掲ケタル訴ヲ却下シタル裁判若ハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判カ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付和解アリタルトキハ第一

審裁判所ハ囑託書ニ裁判ノ謄本若ハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若ハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ豫告登録ノ抹消ヲ囑託スルコトヲ要ス

第五十四條 第五十一條第二號ニ掲ケタル訴願又ハ行政訴訟ヲ却下シ、請求ヲ否認シ若ハ其ノ取下アリタルトキハ農商務大臣ハ豫告登録ノ抹消ヲ命シ行政裁判所ハ之ヲ囑託スルコトヲ要ス

第五章 異議

第五十五條 登録ニ關スル處分ヲ不當トスル者ハ處分ノ了リタル日ヨリ三十日以内ニ農商務大臣ニ異議ヲ爲スコトヲ得

第五十六條 異議ハ鑛山監督署長ニ異議狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

第一類 鑛業登録令

第五十七條 異議ハ新ナル事實及證據方法ヲ以テ其ノ憑據ト爲スコトヲ得ス

第五十八條 鑛山監督署長異議ヲ理由ナシトスルトキハ意見ヲ附シテ事件ヲ農

商務大臣ニ送付スルコトヲ要ス

鑛山監督署長異議ヲ理由アリトスルトキハ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス若シ

登録完了ノ後ナルトキハ假登録ヲ爲シ之ヲ登録上ノ利害關係人ニ通知シ且前

項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第五十九條 異議ハ執行ヲ停止スル效力ヲ有セス

第六十條 農商務大臣ハ登録上ノ利害關係人ニ決定ノ謄本ヲ送付スルコトヲ要

ス

農商務大臣異議ヲ理由アリトスルトキハ鑛山監督署長ニ相當ノ處分ヲ命スル

コトヲ要ス

附則

第六十一條 本令施行前ニ鑛山監督署ニ備付タル鑛業ニ關スル原簿及書入登録

簿ヲ以テ舊鑛業原簿トス

第六十二條 本令施行前ニ於ケル官廳所屬ノ採掘區域ニ關シテハ本令施行ノ日

ニ於テ採掘權設定ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス

第六十三條 本令施行前ニ認可若ハ特許ノ鑛業權又ハ登録ノ抵當權ニ付鑛業權

ノ抹消ヲ除ケノ外登録ノ申請アリタル場合ニ於テ登録ヲ爲ストキハ鑛業原簿

ニ舊鑛業原簿中抹消ニ係ラサル登録ヲ移シ舊鑛業原簿中鑛業原簿ニ移シタル

登録ヲ抹消スルコトヲ要ス

第六十四條 舊鑛業原簿ニ記載シタル鑛業權ニ付其ノ抹消登録ノ申請アリタル

トキハ其ノ原簿ニ其ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス期限滿了ニ因ル抹消ノ登録ヲ爲

ス場合亦同シ

第六十五條 鑛業條例ニ依リ差出シタル廢業届ニ付テハ舊鑛業原簿ニ郵便差出

ノ日時ニ於テ廢業ヲ爲シタルコトノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第六十六條 鑛業條例ニ依リ差出シタル鑛業特許證書換願、採掘權書入登録願

第一類 鑛業登録令

又ハ登録シタル抵當權ノ變更、移轉若ハ取消願ニ付テハ舊鑛業原簿ニ其ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ願書ヲ差出シタル日ヲ以テ申請ノ日ト看做ス

第六十七條 本令施行前ニ相續ニ因リテ鑛業人ト爲リタル者又ハ氏名、名稱若ハ住所ヲ變更シタル鑛業人ハ本令中相續又ハ變更ノ申請ニ關スル規定ニ準シテ調製シタル届書ヲ差出スコトヲ要ス

前項ノ届出アリタルトキハ舊鑛業原簿ニ相續又ハ變更ノ記入ヲ爲スコトヲ要ス

第六十八條 本令ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●鑛業登録令施行細則

(明治三十八年六月二十一日)  
(農商務省令第十八號)

鑛業登録令施行細則左ノ通定ム

鑛業登録令施行細則

第一章 登録ニ關スル帳簿

第一條 鑛業原簿ハ第一號及第二號ノ様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 鑛業原簿ハ府縣ノ區畫ニ依リ北海道ニ付テハ國ノ區畫ニ依リ別冊ト爲スヘシ但シ登録事件夥多ナル府縣又ハ國ニ付テハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ二箇以上ノ別冊ト爲スコトヲ得

第三條 鑛業原簿ハ一箇區ニ付一用紙ヲ備フ

鑛區方鑛業原簿ヲ分設シタル數箇ノ區畫ニ跨ルトキハ其ノ一箇ノ區畫ノ鑛業原簿ニノミ其ノ鑛區ニ關スル用紙ヲ備フ

第四條 共同人名簿ハ第三號及第四號ノ様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條 共同人名簿ハ數區畫ヲ通シテ一冊ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ鑛業原簿ヲ分設シタル區畫毎ニ見出チ附スヘシ

第六條 鑛區圖綴込帳ハ各圖面ニ申請書受附ノ年月日及受附番號並登録番號ヲ記載シ登録番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スヘシ

第一類 鑛業登録令施行細則

第七條 試掘原簿及採掘原簿ニ付各其ノ見出帳ヲ設ケヘシ

前項ノ見出帳ハ數區畫ヲ通シテ一冊ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ鑛業原簿ヲ分設シタル區畫毎ニ見出チ附スヘシ

第八條 鑛業原簿見出帳ハ第五號及第六號ノ様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第九條 鑛業原簿見出帳ニハ登録用紙ニ登録番號ヲ記載スル毎ニ其ノ登録用紙ヲ編綴セル鑛業原簿ノ冊數、丁數及登録番號ヲ記入スヘシ

第十條 鑛業權消滅ノ登録ヲ爲シタルトキハ鑛業原簿見出帳ニ事由ヲ記入シ前條ノ記入事項ヲ朱抹スヘシ

第十一條 登録受附帳ハ第七號様式ニ依リ毎年之ヲ調製シ受附番號ヲ更新スヘシ

第十二條 鑛山監督署ニハ登録事務ニ關シ鑛業原簿、共同人名簿、鑛區圖綴込帳、鑛業原簿見出帳及登録受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一 申請書囑託書附屬書類綴込帳

二 通知書綴込帳

三 通知簿

四 鑛業原簿謄本綴込帳

五 鑛業權抵當權登録濟通知簿

六 異議書類決定原本綴込帳

七 謄本抄本交付閱覽申請事件簿

八 謄本抄本交付閱覽申請書綴込帳

第十三條 前條第三號及第五號ノ通知簿ニハ通知事項ヲ記入シ通知書ト契印スヘシ

第十四條 鑛業原簿ノ謄本、抄本若ハ鑛區圖謄本ノ交付又ハ鑛業原簿若ハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ提出スヘシ

一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所

二 鑛區所在地及登録番號又ハ鑛區ヲ表示スルニ足ルヘキ事項

第一類 鑛業登録令施行細則

三 申請ノ範圍

四 年月日

第十五條 前條ノ申請アリタルトキハ第十二條第七號ノ帳簿ニ請求ノ範圍、申請人ノ氏名又ハ名稱、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シタル上相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第十六條 鑛業原簿ノ謄本ハ鑛業原簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作成シ其ノ末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ鑛山監督署長之ニ年月日ヲ記載シテ記名捺印スヘシ

此ノ謄本ハ鑛業原簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ鑛區圖ノ謄本及鑛業原簿ノ抄本ヲ作成スル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 鑛業原簿ノ謄本、抄本又ハ鑛區圖ノ謄本ヲ交付スルトキハ第十二條

第七號ノ帳簿ニ交付ノ年月日ヲ記載シ謄本又ハ抄本ト契印スヘシ

前項ノ規定ハ鑛業原簿ノ謄本ヲ他ノ鑛山監督署ニ移送スル場合ニ之ヲ準用ス

第十八條 鑛業原簿ヲ分設シタル區畫カ他ノ鑛山監督署ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ全部ノ場合ニ在リテハ其ノ區畫ニ關スル鑛業原簿及其ノ附屬書類ヲ、一部ノ場合ニ在リテハ其ノ部分ニ於ケル鑛業權ニ關スル鑛業原簿ノ謄本及附屬書類若ハ其ノ謄本ヲ移送スヘシ

第二章 申請手續

第十九條 登錄申請書カ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ登錄權利者又ハ登錄義務者カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

前項ニ依ル契印ナキモノニ付テハ擔當職員ニ於テ契印ヲ爲スヘシ

第二十條 數箇ノ鑛山監督署ノ管轄ニ屬スル數箇ノ鑛區ニ關シ同一ノ登錄原因ニ因ル抵當權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニハ最初ニ登錄ヲ申請スル鑛山監督署ニ登錄稅ノ全額ヲ納付スヘシ

前項ノ規定ニ從ヒ登錄稅ヲ納付シタルトキハ擔當職員ハ登錄ヲ申請スヘキ鑛山監督署ノ數ニ應シ登錄稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但シ二通以上ノ受

第一類 鑛業登錄令施行細則

領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スヘシ  
申請人カ他ノ鑛山監督署ニ登録ヲ申請スルニハ申請書ニ受領證ヲ添附スヘシ  
前三項ノ規定ハ同一ノ登録原因ニ因ル鑛業權又ハ抵當權ノ處分ノ制限ノ登録  
ヲ囑託スル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 登録手續

第二十二條 申請書ノ提出アリタルトキハ登録受附帳ニ登録ノ目的、申請人ノ  
氏名又ハ名稱、受附ノ年月日及受附番號ヲ、申請書ニ受附ノ年月日及受附番  
號ヲ記載スヘシ但シ申請人カ郵便ニ依リ申請シタル場合ニ於テ其ノ郵便物ノ  
到達カ執務時間外ニ係ルトキハ郵便物ノ表面ニ登録申請ナルコトヲ明記シタ  
ルモノニ限り其ノ到達ノ時ヲ以テ受附ノ時ト看做ス

前項受附番號ハ受附ノ順序ニ依リ之ヲ附スヘシ但シ同一ノ鑛業權又ハ抵當權  
ニ關シテ同時ニ數箇ノ申請アリタルトキハ同一ノ受附番號ヲ附スヘシ

第一項ニ依リ申請人ノ氏名又ハ名稱ヲ記載スル場合ニ於テ登録權利者又ハ登

録義務者カ多數ナルトキハ代表者又ハ筆頭者ノ氏名若ハ名稱及他ノ人員ヲ記  
載スルヲ以テ足ル

第二十二條 登録番號欄ニハ各鑛區ニ付試掘原簿又ハ探掘原簿ニ登録ヲ爲シタ  
ル順序ヲ記載スヘシ

表示欄ニハ鑛業權ノ表示ヲ爲シ其ノ變更及消滅ニ關スル事項ヲ記載シ表示  
番號欄ニハ表示欄ニ登録事項ヲ記載シタル順序ヲ記載スヘシ

試掘原簿ニ在リテハ事項欄ニ試掘權ノ設定、移轉、處分ノ制限及共同鑛業權者  
ノ脱退ニ關スル事項ヲ、順位番號欄ニ事項欄ニ登録事項ヲ記載シタル順序ヲ、  
探掘原簿ニ在リテハ甲區事項欄ニ探掘權ノ設定、移轉、處分ノ制限及共同鑛業  
權者ノ脱退ニ關スル事項ヲ、乙區事項欄ニ抵當權ノ設定、變更、移轉、消滅及處  
分ノ制限ニ關スル事項ヲ、順位番號欄ニ事項欄ニ登録事項ヲ記載シタル順序  
ヲ記載スヘシ

第二十三條 表示欄ニ登録ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、登録ノ目的其ノ他

第一類 鑛業登録令施行細則

礦業權ノ表示ニ關スル事項並登録ノ年月日ヲ記載シテ擔當職員捺印スヘシ  
事項欄ニ登録ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、登録權利者ノ氏名  
又ハ名稱、住所、登録原因及其ノ日附、登録ノ目的其ノ他登録スヘキ權利ニ關  
スル事項並登録ノ年月日ヲ記載シテ擔當職員捺印スヘシ

第二十四條 表示欄ニ登録ヲ爲ストキハ表示番號欄ニ番號ヲ、事項欄ニ登録ヲ  
爲ストキハ順位番號欄ニ番號ヲ記載スヘシ

第二十一條 第二項但書ノ規定ニ依リ同一ノ受附番號ヲ附シ同一ノ事項欄ニ登  
録ヲ爲スモノニ付テハ同一ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第二十五條 表示欄ニ登録ヲ爲シタルトキハ表示番號欄及表示欄ニ縦線ヲ劃シ  
事項欄ニ登録ヲ爲シタルトキハ順位番號欄及事項欄ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分  
界スヘシ

第二十六條 附記登録ノ順位番號ヲ記載スルニハ主登録ノ番號ヲ用井其ノ番號  
ノ左側ニ附記何號ト記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ主登録ノ順位番號ノ左側ニ附記登録番號ヲ記載スヘシ  
第二十七條 假登録ハ登録用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲シ其ノ左側ニ餘白ヲ存  
スヘシ

第二十八條 假登録ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニ縦線ヲ劃シ其ノ左側ニ本登  
録ヲ爲シ得ヘキ相當ノ餘白ヲ存シタル上順位番號欄及事項欄ニ縦線ヲ劃スヘシ

第二十九條 假登録ヲ爲シタル後本登録ノ申請アリタルトキハ假登録ノ左側ノ  
餘白ニ其ノ登録ヲ爲スヘシ

第三十條 豫告登録ハ礦業登録令第五十一條第一號ニ關スルモノニ付テハ登録  
用紙中相當區事項欄ニ、同條第二號ニ關スルモノニ付テハ表示欄ニ之ヲ爲ス  
ヘシ

第三十一條 變更又ハ更正ノ登録ヲ爲ストキハ其ノ登録ニ因リテ變更又ハ更正  
セラレタル登録事項ヲ朱抹スヘシ

第三十二條 登録ヲ完了シタルトキハ登録原因ヲ證スル書面ニ登録番號、申請

第一類 礦業登録令施行細則



書受附ノ年月日、順位番號及登錄濟ノ旨ヲ記載シ鑛山監督署ノ印ヲ押捺シテ  
之ヲ登錄權利者ニ還付シ且登錄義務者ニハ登錄番號、登錄ノ原因及其ノ日附、  
登錄ノ目的、申請書受附ノ年月日、順位番號及登錄濟ノ旨ヲ記載シ鑛山監督署  
ノ印ヲ押捺シタル書面ヲ交付スヘシ但シ登錄義務者多數ナルトキハ其ノ一人  
ニ交付スルヲ以テ足ル

鑛業ニ關スル出願ノ許可ニ因ル登錄ノ場合ニ於テハ鑛山監督署長ノ通知書ニ  
前項ニ準シタル記載ヲ爲シ鑛山監督署ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄權利者ニ交付  
スヘシ

第三十三條 鑛業權消滅ノ登錄ヲ爲シタル後登錄回復ノ申請アリタル場合ニ於  
テ登錄ヲ爲スニハ登錄用紙中登錄番號欄ニ新ナル番號ヲ、其ノ左側ニ前登錄  
番號ヲ、表示欄ニ回復ノ原因ヲ記載シ其ノ消滅前ノ登錄ト同一ノ登錄ヲ爲ス  
ヘシ

第三十四條 前條ニ規定シタル場合ヲ除クノ外登錄回復ノ申請アリタル場合ニ

於テ登錄ヲ回復スルトキハ回復ノ登錄ヲ爲シタル後更ニ抹消ニ係ル登錄ト同  
一ノ登錄ヲ爲シ若シ登錄事項ノ一部ノミカ抹消ニ係ルトキハ附記ニ依リ更ニ  
其ノ事項ヲ登錄スヘシ

第三十五條 第十八條ニ依リ鑛業原簿謄本ヲ移送ヲ受ケタルトキハ鑛山監督署  
長ハ其ノ謄本ニ依リ相當鑛業原簿ニ登錄ヲ移スヘシ

鑛業原簿ヲ移ストキハ登錄用紙中登錄番號欄ニ新ナル番號ヲ、其ノ左側ニ前  
登錄區畫及前登錄番號ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及事項欄ニ移シタル登錄ノ末尾ニ鑛業原簿ノ謄本  
ニ依リ登錄ヲ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ擔當職員捺印スヘシ

他ノ鑛業原簿ニ登錄ヲ移シタルトキハ前登錄用紙中表示欄及事項欄ニ他ノ鑛  
山監督署ノ鑛業原簿ニ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ擔當職員捺印スヘシ

第三十六條 同一鑛山監督署ノ管轄ニ屬スル鑛區カ他ノ登錄區畫ニ轉屬シタル  
トキハ其ノ鑛業原簿ニ登錄ヲ移スヘシ

第一類 鑛業登錄令施行細則

前條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 登録用紙中部又ハ區カ登録ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ  
新用紙中登録番號欄ニ前用紙ノ登録番號ヲ轉寫シ其ノ左側ニ第二ナルコト、  
前用紙ヲ編綴セル鑛業原簿ノ冊數、丁數及其ノ繼續用紙ナル旨ヲ記載シ且前  
用紙ノ登録番號ノ左側ニ其ノ第一ナルコト、新用紙ヲ編綴セル鑛業原簿ノ冊  
數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ但シ前用紙中其ノ餘白アルモノニ付  
テハ仍之ニ記載スヘシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第三十八條 登録ノ申請書ニ圖面ヲ添附シタル場合ニ於テハ登録用紙中表示欄  
ニ爲シタル登録ノ末尾ニ鑛區圖綴込帳ノ冊數及丁數ヲ記載スヘシ

第三十九條 鑛業權ノ設定又ハ移轉ニ關スル登録ノ申請ニ付登録權利者多數ナ  
ルトキハ代表者ノミノ氏名又ハ名稱及住所並其ノ代表者ナルコトヲ登録用紙  
ニ、共同鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所並代表者ノ氏名又ハ名稱ヲ共同人名

簿ニ記載スヘシ

共同鑛業代表者改定ノ届出又ハ指定アリタルトキハ前項ニ準シテ其ノ登録ヲ  
爲シタル後前ノ代表者ノ表示ヲ朱抹スヘシ

第四十條 前條ノ規定ニ依リ共同人名簿ニ記載ヲ爲スニハ番號欄ニ番號ヲ、代  
表者欄ニ代表者ノ氏名又ハ名稱及其ノ届出又ハ指定ノ年月日ヲ、共同人名欄  
ニ共同鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ、備考欄ニ登録番號及順位番號ヲ記  
載シテ擔當職員捺印スヘシ

第四十一條 共同鑛業權者ノ表示ノ變更、更正又ハ脱退ニ付鑛業原簿ニ登録ヲ  
爲シタルトキハ共同人名簿中備考欄ニ登録ノ目的タル新ナル事項及其ノ順位  
番號ヲ記載シ擔當職員捺印シ前ニ記載シタル事項ヲ朱抹スヘシ

第四十二條 前三條ノ場合ニ於テ代表者欄又ハ備考欄ニ餘白ナキニ至リタルト  
キハ新ニ番號欄ニ前番號ヲ轉寫シ其ノ左側ニ其ノ第二ナルコト、前用紙ヲ編  
綴セル共同人名簿ノ冊數、丁數及其ノ繼續用紙ナル旨ヲ、共同人名欄ニ共同

第一類 鑛業登録令施行細則

鑛業權者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シ且前用紙ノ番號ノ左側ニ其ノ第一ナルコト、繼續用紙ヲ編綴セル共同人名簿ノ冊數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ但シ前用紙中其ノ餘白アルモノニ付テハ仍之ニ記載スヘシ  
前項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 共同人名簿ニ記載ヲ爲シタル場合ニ於テハ鑛業原簿ニ爲シタル登錄ノ末尾ニ共同人名簿ニ於ケル番號ヲ記載スヘシ

第四十四條 共同人名簿ニ共同鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所ノ記載ヲ爲シタルトキハ共同人名欄ニ於ケル末尾ノ縱線ヲ番號欄、代表者欄及備考欄ニ延長シテ餘白ト分界スヘシ

第四十五條 數箇ノ採掘權カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ一箇ノ採掘權ニ付抵當權設定ノ登錄ヲ爲ストキハ其ノ採掘權ノ登錄用紙中乙區事項欄ニ他ノ採掘權ノ登錄番號及鑛區所在地ヲ表示シ其ノ採掘權カ共ニ抵當權ノ目的タル旨ヲ記載スヘシ

第四十六條 前條ノ場合ニ於テ其ノ一箇ノ採掘權又ハ抵當權ノ消滅ノ登錄ヲ爲シタルトキハ他ノ採掘權ノ登錄用紙中乙區事項欄ニ其ノ抵當權消滅シタル旨ヲ附記シ消滅ニ係ル登錄事項ヲ朱抹スヘシ

第四十七條 數箇ノ鑛山監督署ノ管轄ニ屬スル數箇ノ採掘權カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ一箇ノ採掘權又ハ抵當權ノ消滅ノ登錄ヲ爲シタルトキハ鑛山監督署長ハ關係鑛山監督署長ニ消滅ノ事由及申請書受附ノ年月日ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ前條ノ規定ニ準シテ其ノ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スヘシ

第四十八條 登錄ヲ抹消スルニハ抹消ノ登錄ヲ爲シタル後抹消スヘキ登錄ヲ朱抹スヘシ

第四十九條 鑛業法第四十二條及第四十三條ノ規定ニ基キテ爲シタル競賣ニ因ル採掘權移轉ノ登錄ノ囑託アリタル場合ニ於テハ第三十三條ノ規定ニ準シ登  
第一類 鑛業登錄令施行細則  
二百九十九

録ヲ爲シタル後移轉ノ登録ヲ爲スヘシ  
前項ノ場合ニ於テハ前登録用紙ノ表示欄ニ新登録用紙ニ登録ヲ移シタル旨ヲ  
記載スヘシ

第五十條 第十八條又ハ礦業登録令第二十三條ノ場合ニ於テ礦業原簿ノ表紙ニ  
記載シタル礦山監督署又ハ行政區畫ノ名稱ノ變更アリタルトキハ其ノ表紙ニ  
其ノ名稱ノ變更アリタルコト及其ノ年月日ヲ記載シ且其ノ名稱ヲ變更スヘシ

附則

第五十一條 本則ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
第五十二條 礦業登録令第六十三條ノ規定ニ依リ舊礦業原簿ヨリ登録ヲ移シタ  
ルトキハ表示欄及事項欄ニ移シタル登録ノ末尾ニ舊礦業原簿第何冊第何丁ヨ  
リ移シタル旨及年月日ヲ記載シ擔當職員捺印スヘシ  
前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ舊礦業原簿ニ礦業原簿第何冊第何丁ニ移シタル  
旨、其ノ登録番號及年月日ヲ記載シ擔當職員捺印スヘシ

(様式略ス)

● 鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手数料

(明治三十八年六月十九日勅令第百八十四號)

朕鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手数料ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 鑛業ニ關スル出願、申請又ハ届出ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ

- 一 納ムヘシ
- 二 試掘願 每一件 金五十圓
- 三 試掘出願地ノ變更願 每一件 金三十圓
- 四 增區又ハ增減區 每一件 金五圓
- 五 減區 每一件 金三十圓
- 六 試掘鑛區ノ變更願 每一件 金三十圓
- 七 增區又ハ增減區 每一件 三百圓
- 八 第一類 鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手数料 三百圓

減區

每一件 金五圓

改正

每一件 金五圓

四 試掘出願人ノ變更届

相續

每一件 金五圓

相續以外ノ原因ニ因ル變更

每一件 金二十五圓

五 採掘願

每一件 金七十五圓

六 採掘出願地ノ變更願

增區又ハ増減區

每一件 金五十圓

減區

每一件 金五圓

七 採掘鑛區變更願

増區又ハ増減區

每一件 金五十圓

減區

每一件 金五圓

鑛區訂正

每一件 金三十圓

改正

每一件 金五圓

八 採掘鑛區ノ合併又ハ分割願

每一件 金三十圓

九 採掘鑛區ノ分合願

每一件 金五十圓

十 採掘出願人ノ變更届

相續

每一件 金五圓

相續以外ノ原因ニ因ル變更

每一件 金五十圓

十一 共同鑛業出願人ノ脱退届

每一件 金五圓

十二 鑛種名更正願

每一件 金十圓

十三 鑛業法第四十九條ノ規定ニ依ル實地調査願

每一件 金五十圓

十四 鑛業法第五十二條ノ規定ニ依ル測量又ハ検査願

每一件 金十圓

十五 鑛業法第五十三條ノ規定ニ依ル障碍物除却願

第一類 鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手数料 三百三

三百四

每一件 金十五圓

十六 鑛業法第五十六條ノ規定ニ依ル鑛業用地使用願

每一件 金二十五圓

十七 裁決申請

每一件 金二十五圓

第二條 鑛業登錄令第六條ノ規定ニ依リテ鑛業原簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求シ又ハ鑛業原簿若ハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納ムヘシ

一 鑛業原簿ノ謄本又ハ抄本交付ノ申請

用紙每一枚 金五十錢

二 鑛區圖謄本交付ノ申請

鑛區每十萬坪 金二圓五十錢

三 鑛業原簿又ハ附屬書類ノ閱覽申請 每鑛區每一時間金二十五錢

紙數、面積又ハ時間ニ依リ手数料額ヲ定ムル場合ニ於テハ一枚、十萬坪又ハ一時間ニ滿タサルモノト雖一枚、十萬坪又ハ一時間トシテ計算ス

第三條 砂鑛採取業ニ關スル出願、請求又ハ届出ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納ムヘシ

一 砂鑛採取願 每一件 金二十圓

二 砂鑛採取出願地ノ增區又ハ增減區願

每一件 金二十圓

三 砂鑛採取出願地ノ減區願 每一件 金五圓

四 砂鑛採取地ノ增區又ハ增減區願 每一件 金二十圓

五 砂鑛採取地ノ減區願 每一件 金五圓

六 砂鑛採取地ノ合併又ハ分割願 每一件 金五圓

七 砂鑛採取出願人ノ變更願

相續 每一件 金五圓

相續以外ノ原因ニ依ル變更 每一件 金十圓

八 砂鑛採取出願人ノ除名届 每一件 金五圓

第一類 鑛業及砂鑛採取業ニ關スル手数料 三百五

- 九 砂鑛採取業讓渡願 每一件 金二十圓
  - 十 砂鑛採取業相續届 每一件 金五圓
  - 十一 砂鑛採取人除名届 每一件 金五圓
  - 十二 廢業届 每一件 金五圓
  - 十三 砂鑛採取地圖再下付願 每一件 金五圓
  - 十四 砂鑛採取原簿又ハ砂鑛採取地圖閱覽願 每採取地每一時間金二十五錢
  - 十五 鑛山監督署長ノ判定請求 每一件 金二十五圓
  - 十六 農商務大臣ノ裁定請求 每一件 金二十五圓
- 前項第一號ノ出願ニ付テハ河床ニ在リテハ二里毎ニ、其ノ他ニ在リテハ十萬坪毎ニ一件分ノ手数料ヲ納ムヘシ
- 第一項第二號及第四號ノ出願ニ付テハ其ノ增區部分ノミニ付前二項ニ依ル手数料ヲ納ムヘシ

里數ニ依リテ定メタル區域ヲ坪數ノ區域ニ變更シ又ハ坪數ニ依リテ定メタル區域ヲ里數ノ區域ニ變更スル場合ニハ其ノ變更シタル全區域ノ半ヲ以テ增區部分ト看做シ其ノ手数料額ヲ計算スヘシ

面積又ハ時間ニ依リ手数料額ヲ定ムル場合ニ於テハ二里、十萬坪又ハ一時間ニ滿タサルモノト雖二里、十萬坪又ハ一時間トシテ計算ス

第四條 手数料ハ收入印紙ヲ願書、申請書、請求書又ハ届書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

附則

本令ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年勅令第百五十號ハ之ヲ廢止ス

●鑛業警察規則

(明治三十八年六月二十二日)  
(農商務省令第十九號)

鑛業警察規則左ノ通定ム

第一類 鑛業警察規則

鑛業警察規則

第一條 採掘權者カ技術ニ關スル事項ヲ管理セシムル爲特別ノ管理者ヲ選任又ハ改任シタルトキハ其ノ履歷書ヲ添ヘ直ニ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第二條 鑛業法第七十三條ニ依リ技術ニ關スル管理者ノ選任又ハ改任ヲ命セラレタル者ハ左ノ資格ヲ有スル者ノ中ニ候補者ヲ選定シ履歷書ヲ添ヘ農商務大臣ノ認可ヲ申請スヘシ

一 帝國大學卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力經驗ヲ有スル者

二 高等工業學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力經驗ヲ有スル者

三 七箇年以上鑛業ニ從事シタル者

前項ノ認可ニ基キテ技術管理者ヲ選任又ハ改任シタルトキハ直ニ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第三條 技術ニ關スル管理者ハ左ノ權限ヲ委任セラレタルモノト看做ス但シ採掘權者カ其ノ代理權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テ

ハ鑛山監督署長ニ其ノ旨ヲ届出ヘシ

一 本則ノ規定及本則ノ規定ニ依リテ發シタル命令ニ依リ採掘權者ノ爲スヘキ一切ノ手續其ノ他ノ行爲

二 本則ノ規定ニ依ル係員ノ監督

第四條 鑛業權者ハ本則ノ規定ニ依ル係員ヲ選任又ハ改任シタル場合ニハ其ノ履歷書ヲ添ヘ直ニ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第五條 鑛山監督署長ハ本則ノ規定ニ依ル係員ノ選任、改任又ハ其ノ増員ヲ命スルコトヲ得

第六條 鑛業ヲ爲スニ當リ過失變災等ニ依リ死傷者ヲ生シタルトキハ鑛業權者ハ遲滞ナク其ノ事由及狀況ヲ鑛山監督署長ニ届出ヘシ死傷者ヲ生セサル場合ト雖事業ノ全部又ハ一部ヲ休止スルヲ要スルニ至リタルトキ亦同シ  
前項ノ場合ニ於テ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ命スル所ニ從ヒ變災ニ對スル處置、其ノ經過及結果ヲ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第一類 鑛業警察規則



第七條 鑛業權者ハ周知シ得ヘキ方法ヲ以テ本則中鑛夫ニ關スル規定ヲ鑛夫ニ告知スヘシ

第八條 鑛業權者ハ現ニ坑内ニ於テ操業スル鑛夫ノ員數及其ノ姓名ヲ知り得ヘキ方法ヲ設ケ置クヘシ

第九條 鑛業法又ハ本則ニ依リ命セラレタル豫防工事ニ著手シ又ハ之ヲ完成シタル者ハ遲滞ナク鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第十條 鑛業ノ全部又ハ一部ヲ廢止セムトスル者ハ豫メ危險ノ虞アル坑口ヲ後害ナキ様ニ閉塞スヘシ

第十一條 鑛夫五十人以上ヲ同時ニ入坑セシムル坑内ニ於テハ其ノ奥部ニ於テ連絡シ且何時ニテモ出入シ得ヘキ裝置ヲ爲シタル二箇以上ノ坑口ヲ設ケヘシ  
鑛山監督署長ニ於テ必要ト認ムルトキハ各坑口間ノ距離、連絡坑道ノ數、其ノ裝置及位置ヲ指定スルコトヲ得  
鑛山監督署長ニ於テ必要ト認ムルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ鑛夫五十人

以下ヲ入坑セシムル坑内ニ於テモ前二項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第十二條 堅坑、坑井又ハ四十度以上ノ斜坑及坑道ノ之ト交叉スル場所ニハ蓋又ハ柵圍ヲ設ケヘシ

第十三條 通行又ハ運搬ノ用ニ供スル堅坑及主要ノ坑道ニハ通信機ヲ設ケヘシ

第十四條 堅坑ニ架設スヘキ梯子ノ傾斜ハ八十度以内トシ少クトモ三十尺毎ニ踏棚ヲ設ケヘシ

第十五條 人ヲ通行セシムル堅坑ニ於テ捲揚ノ裝置ヲ設クル場合ニハ板圍アル梯子道ヲ設ケヘシ

第十六條 人ヲ昇降セシムル捲揚臺ニハ上蓋ヲ備ヘ且捲揚網ノ切斷及捲揚超過ヨリ生スル危險ニ對スル豫防設備ヲ爲スヘシ  
前項ノ捲揚臺ヲ支持スル綱索ハ少クトモ總重量ノ十倍ニ耐ユルモノヲ用ウヘシ

第十七條 人ヲ通行セシムル坑内ノ自動車道又ハ捲揚車道ニ於テハ軌道ノ一方

第一類 鑛業警察規則

二入道ヲ設クル方又ハ軌道ノ傍側ニ於テ便宜避害所ヲ設ケ白色ニ塗リ置クヘシ

第十八條 自動車道又ハ捲揚車道ニ使用スル車輛ニハ係鑛夫ノ外乗車スルコトヲ得ス但シ第十六條ノ規定ニ準シテ危險豫防ノ設備ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 通行又ハ運搬ノ用ニ供スル坑道ハ幅三尺以上高五尺以上ト爲スヘシ

第二十條 坑内ニハ衛生上必要ナル分量ノ新鮮空氣ヲ給送スヘシ

第二十一條 石炭坑ニ於テハ變災ニ對スル應急ノ設備ヲ爲シ鑛山監督署長ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ設備ハ鑛山監督署長ノ認可ヲ得附近ノ採掘權者ト共同シテ之ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 石炭坑内ニ於テハ特種ノ安全燈ニ使用スル場合ノ外燈火用トシテ石油其ノ他揮發性燈油ヲ使用スルコトヲ得ス

第二十三條 石炭坑内ニ於テ新ニ瓦斯ノ發生ヲ認メタルトキハ鑛業權者ハ直ニ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第二十四條 石炭坑ニ於テハ常ニ十箇以上ノ安全燈ヲ備置クヘシ

第二十五條 石炭坑ニ於テ瓦斯ノ存在スル場所ニ在リテハ安全燈及電燈ノ外燈火ヲ使用スルコトヲ得ス

第二十六條 瓦斯ノ存在スル石炭坑ニ在リテハ指定ノ場所ノ外喫煙ヲ爲シ又ハ發火具ヲ携帯スルコトヲ得ス

第二十七條 石油坑口又ハ貯油場ノ周圍五間以内ノ場所ニ於テハ發火具、裸火其ノ他危險ナル燈火ヲ使用スルコトヲ得ス

第二十八條 採掘權者ハ保安係員ヲ置キ作業ノ保安ニ關スル事項ヲ掌ラシムヘシ

保安係員ハ掘採ニ關スル場所ニ就キ毎日危險ノ有無ヲ巡檢スヘシ但シ瓦斯ノ存在スル石炭坑ニ於テハ鑛夫ノ就業前及交替毎ニ之ヲ爲スヘシ

第一類 鑛業警察規則

保安係員ハ危險ノ虞アリト認メタル場所ニ於ケル作業ヲ中止セシメ且其ノ通行ヲ遮斷シ遲滯ナク之ヲ採掘權者ニ報告スヘシ此ノ場合ニ於テハ更ニ検査ヲ爲シ安全ト認メタル後ニ非サレハ作業ヲ開始セシメ又ハ其ノ遮斷ヲ解ケコトヲ得ス

保安係員ハ適當ナル施設ヲ以テ作業休止ノ場所ノ通行ヲ遮斷スヘシ

鑛夫ハ通行遮斷ノ場所ニ立入ルコトヲ得ス

保安係員ハ特別ノ帳簿ヲ調製シ巡檢毎ニ其ノ狀況ヲ記載スヘシ

第二十九條 鑛夫五十人以上ヲ同時ニ入坑セシムル石炭坑ニ於テハ氣壓計及驗

溫器ヲ通氣路ノ要所ニ備置ケヘシ

氣流ノ通路及方向、通氣用構造物並通氣觀測點ノ位置ハ之ヲ坑内實測圖又ハ

特ニ調製シタル通氣圖ニ記入シ置ケヘシ

保安係員ハ測風器、氣壓計、驗溫器及安全燈其ノ他瓦斯檢定器ヲ以テ毎日通氣

ノ狀況及瓦斯ノ多少ヲ觀測シ特別ニ調製シタル帳簿ニ其ノ結果ヲ記載スヘシ

若シ異常アルトキハ直ニ其ノ旨ヲ採掘權者ニ報告スヘシ

鑛山監督署長ニ於テ必要ト認ムルトキハ農商務大臣ノ許可ヲ經テ第一項以外

ノ鑛山ニモ前三項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第三十條 安全燈ノ使用ヲ必要トスル石炭坑ニ付テハ左ノ規定ヲ適用ス

一 採掘權者ハ安全燈係員ヲ置キ安全燈ノ授受及検査等ニ關スル事項ヲ掌ラ

シム

二 安全燈係員ハ安全燈ノ検査ヲ爲シ鎖鑰ヲ施シタル後ニ非サレハ之ヲ鑛夫

ニ渡スコトヲ得ス

三 鑛夫ハ安全燈ヲ開キ又ハ之ヲ閉クニ用ウヘキ器具ヲ携帯スルコトヲ得ス

四 採掘權者ハ坑内ニ於テ安全燈ノ毀損シ若ハ燈火ノ滅シタル場合ニ之ヲ交

換シ又ハ一定ノ場所ニ於テ點火スルカ爲適當ナル方法ヲ設ケヘシ

五 採掘權者ハ安全燈ノ取扱方ニ關スル規則ヲ定メ且之ヲ鑛夫ニ告知スヘシ

第三十一條 鑛業ヲ爲スニ當リ火藥類ヲ使用スル場合ニハ左ノ規定ヲ適用ス

第一類 鑛業警察規則

- 一 鑛業權者ハ火藥係員ヲ置キ火藥類ノ授受及其ノ取締等ニ關スル事項ヲ掌ラシムヘシ
- 二 火藥係員ハ一日間ノ使用見積高ヨリ多量ノ火藥類ヲ鑛夫ニ渡スコトヲ得ス
- 三 鑛夫ハ火藥類ヲ使用シタル後殘餘アルトキハ直ニ之ヲ火藥係員ニ還付スヘシ
- 四 鑛夫ハ鐵製込棒ヲ以テ裝藥スルコトヲ得ス
- 五 鑛夫ハ粘土其ノ他發火ヲ誘起スル虞ナキ物ノ外込物トシテ使用スルコトヲ得ス
- 六 鑛夫ハ導火線ニ點火シタル後爆發セサルトキハ少クトモ十五分間ハ其ノ場所ニ近寄ルコトヲ得ス且此ノ場合ニ於テ其ノ火藥類ハ之ヲ掘出スコトヲ得ス
- 七 鑛業權者ハ火藥類ノ取扱方ニ關スル規則ヲ定メ且之ヲ鑛夫ニ告知スヘシ

八 火藥係員ハ火藥類ノ使用ニ關シ特別ノ帳簿ヲ調製シ毎日ノ渡高、使用高及還付高ヲ記載スヘシ

第三十二條 鑛業權者ハ左ニ掲ケル工作物ヲ開設シ又ハ變更セムトスルトキハ第一號ノモノニ付テハ其ノ設計書及圖面ヲ添ヘ第二號ノモノニ付テハ其ノ使用ノ目的ヲ明記シ豫メ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

- 一 汽罐、捲揚器械、選鑛場、燒鑛場、製鍊場又ハ煙突
  - 二 汽機、石油發動機、發電機、電動機、水車、唧筒、通風機
- 前項第一號ニ掲ケタルモノノ工事ヲ完成シタルトキハ其ノ旨ヲ鑛山監督署長ニ届出テ使用ノ認可ヲ得タル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス
- 第一項ニ掲ケタルモノノ使用ヲ廢シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ鑛山監督署長ニ届出ヘシ

第三十三條 鑛業權者ハ機關係員ヲ置キ特別ノ注意ヲ要スル機關竝之ニ附屬スル裝置ヲ管守シ及係鑛夫ヲ監督セシムヘシ

第一類 鑛業警察規則

鑛業權者ハ機關ノ取扱方ニ關スル規則ヲ定メ之ヲ係鑛夫ニ告知スヘシ  
機關係員ハ毎日其ノ管守ニ屬スル機關ヲ監視シ異常アルトキハ直ニ之ヲ鑛業  
權者ニ報告スヘシ

機關係員ハ特別ノ帳簿ヲ調製シ前項ニ掲ケタル事項其ノ他機關ノ修理又ハ休  
止等重要ナル事項ヲ記載スヘシ

第三十四條 鑛業權者ハ第二十八條第三項、第二十九條第三項又ハ前條第三項ノ  
場合ニ於テ係員ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ應急若ハ豫防ノ處置ヲ爲スヘシ  
第三十五條 鑛山監督署長ハ鑛業ノ狀況ニ依リ農商務大臣ノ認可ヲ經テ本則ノ  
規定ノ適用ヲ斟酌スルコトヲ得

第三十六條 本則ノ規定ニ違背シタル者又ハ本則ノ規定ニ依リテ發シタル命令  
ニ從ハサル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 本則ノ規定ニ依リ從業者ヲ罰スヘキ場合ニハ直接ノ監督者ヲ現ニ  
犯シタルモノト同一ノ罰ニ處ス但シ監督上相當ノ注意ヲ用井タルコトヲ證明

シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 本則ノ規定ニ依リ技術ニ關スル管理者ヲ置キタル場合ニハ本則ノ  
規定ニ依リ採掘權者、法定代理人又ハ法人ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ技術ニ關  
スル管理者ニ適用ス但シ其ノ權限ニ屬セサル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

第三十九條 本則ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四十條 明治二十五年農商務省令第七號ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第四十一條 本則施行前ニ第三十二條ニ掲ケタル工作物ヲ建設シタル者ハ本則  
施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ同條ノ規定ニ準シ調製シタル設計書及圖面ヲ添ヘ  
鑛山監督署長ニ届出ヘシ但シ本則施行前ニ認可ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ  
限ニ在ラス

第四十二條 明治二十五年農商務省令第七號第八條第五項ノ規定ニ依リテ認可  
ヲ受ケタル鑛山係員ハ第二十八條ノ規定ニ依リテ定メタル保安係員ト看做ス

第一類 鑛業警察規則

● 鑛業抵當法

(明治三十八年三月十一日)  
法律第五十五號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル鑛業抵當法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

鑛業抵當法

第一條 採掘權者ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲鑛業財團ヲ設ケルコトヲ得

第二條 鑛業財團ハ左ニ掲グルモノニシテ鑛業ニ關シ同一採掘權者ニ屬スルモノノ全部又ハ一部ヲ以テ之ヲ組成スルコトヲ得

一 鑛業權

二 土地及工作物

三 地上權及土地ノ使用權

四 貸貸人ノ承諾アルトキハ物ノ質借權

五 機械、器具、車輛、船舶、牛馬其ノ他ノ附屬物

第三條 鑛業財團ニ付テハ工場抵當法中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條 採掘權取消ノ登録アリタルトキハ鑛山監督署長ハ直ニ之ヲ抵當權者ニ

通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ抵當權者ハ直ニ其ノ權利ヲ實行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ抵當權ヲ實行セムトスルトキハ抵當權者ハ第一項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ六箇月内ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

採掘權ハ前項ノ期間内又ハ抵當權實行ノ終了ニ至ル迄抵當權實行ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

競落人又ハ競落人ニ依リテ設立セラレタル法人ハ採掘權取消ノ登録アリタルトキニ於テ採掘權ヲ讓受ケタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ錯誤ニ因リ鑛業ノ出願カ許可セラレタル場合又ハ鑛業カ公益ヲ害スルモノト認メラレタル場合ニ於ケル採掘權ノ取消ニ關シテハ之ヲ適用セズ

第五條 前條ノ規定ハ採掘權者カ廢業シタル場合ニ之ヲ準用ス

第一類 鑛業抵當法

第六條 競賣ニ付セラレタル鑛業ヲ目的トシ帝國法律ニ從ヒ法人ヲ設立セムトスル者カ競賣ニ加入スルトキハ競買ノ申込ト同時ニ其ノ旨ヲ執行裁判所ニ申出ツヘシ

前項ノ規定ニ依リ競賣ニ加入スル者ハ競買ノ申込ニ關シテハ連帶シテ其ノ責ニ任ス

第七條 鑛業財團ノ競落人カ前條第一項ノ規定ニ依リ競賣ニ加入シタル者ナルトキハ競落ヲ許ス決定カ確定シタル日ヨリ三箇月内ニ法人ヲ設立シ之ヲ執行裁判所ニ届出ツヘシ

第八條 前條ノ競落人ハ法人設立ノ日ヨリ一週間以内ニ競落代金ヲ執行裁判所ニ支拂フヘシ但シ債權者カ競落人タル場合ニ於テハ自己カ競落代金中ヨリ受取ルヘキ金額ヲ控除シ其ノ殘額ノミヲ支拂フヲ以テ足ル

第九條 前條ノ規定ニ依リ競落代金ノ支拂アリタルトキハ競賣ニ付セラレタル鑛業財團ノ所有權ハ競落人ニ依リテ設立セラレタル法人ニ移轉ス

第十條 第七條ノ期間内ニ法人設立ノ届出ナキトキ又ハ第八條ノ期間内ニ競落代金ノ支拂ナキトキハ執行裁判所ハ職權ヲ以テ鑛業財團ノ再競賣ヲ命ズヘシ前項ノ再競賣ニ關シテハ民事訴訟法第六百八十八條ノ規定ヲ準用ス

第十一條 工場抵當法中工場財團ニ關スル罰則ハ鑛業財團ニ關シ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

●鑛業抵當登記取扱手續 (明治三十八年六月二十六日) 司法省令第十九號

鑛業抵當登記取扱手續左ノ通相定ム

鑛業抵當登記取扱手續

第一條 鑛業抵當法ニ依ル鑛業財團ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外工場抵當登記取扱手續中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第二條 鑛業財團所有權保存ノ登記ヲ申請スルニハ鑛業抵當法第三條及工場抵當法第一類 鑛業抵當登記取扱手續 三百二十三

當法第二十二條ニ掲ケタル書面ノ外工作物ノ配置ヲ記載シタル圖面ヲ提出ス

第三條 礦業財團目錄ニ掲クヘキ礦業權ニ付テハ礦區ノ位置、礦物ノ名稱、礦區

採掘權ニ付期限アルモノニ付テハ其ノ期限ヲモ記載スヘシ

第四條 礦業財團目錄ニ掲クヘキ土地ノ使用權ニ付テハ土地所在ノ郡、市、區、

間、使用料及其ノ支拂時期並ニ土地所有者及關係人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ

第五條 數箇ノ礦業權ニ付礦業財團ヲ設ケル場合ニ於テ礦業財團目錄ヲ作成ス

第六條 登記官吏カ礦業財團登記簿ノ用紙中表示欄ニ礦業財團ノ表示ヲ爲スニ

第六條 登記官吏カ礦業財團登記簿ノ用紙中表示欄ニ礦業財團ノ表示ヲ爲スニ  
ハ礦區ノ位置、礦物ノ名稱、礦區ノ面積、礦業權ノ登録番號及礦業事務所ヲ記  
載スヘシ

第七條 礦業財團目錄及第二條ニ依リ提出シタル圖面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ  
附則

本令ハ礦業抵當法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●砂鑛採取法 (明治二十六年三月四日 法律第十號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル砂鑛採取法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

砂鑛採取法

第一條 此ノ法律ニ於テ砂鑛トハ砂金、砂錫及砂鐵ヲ謂フ

第二條 砂鑛ヲ採取セムト欲スル者ハ所轄鑛山監督署長ヲ經由シ農商務大臣ノ  
許可ヲ受ケヘシ

第一類 砂鑛採取法



第三條 採取ノ事業ヲ讓渡サムトスルトキハ所轄鑛山監督署長ヲ經由シテ農商務大臣ノ許可ヲ受クヘシ(二十八年法律第三十號ヲ以テ本條追加第三條ヲ第四條トシ以下繰下ク)

共同採取人中ニ於テ除名スルトキハ其ノ人名ヲ所轄鑛山監督署長ニ届出ヘシ  
第四條 帝國臣民ニ非サレハ採取人トナリ又ハ採取業ニ關スル組合員又ハ會社員トナルコトヲ得ス

採取人未成年、瘋癲、白痴又ハ瘡癩ナルトキハ後見人ヲ立ツヘシ  
農商務省鑛山局及鑛山監督署ノ官吏ハ在職中採取人トナリ又ハ採取業ニ關スル組合員又ハ會社員トナルコトヲ得ス

第五條 採取區域内ノ土地他人ノ所有ニ係ルトキハ所有者又ハ關係人ノ承諾ヲ受クヘシ

土地所有者又ハ關係人ハ自ら採取ヲ出願スルトキハ外前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス但シ承諾ヲ與フルトキハ相當ノ砂鑛採取料ヲ要求スルコトヲ得

第六條 採取ノ事業公益ヲ害スト認ムルトキハ農商務大臣ハ其ノ出願ヲ許可セ

第七條 採取ノ事業公益ニ害アルトキハ農商務大臣ハ既ニ與ヘタル許可ヲ取消ス

第八條 採取業上ニ危險ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ所轄鑛山監督署長ハ採取人ニ其ノ豫防ヲ命シ又ハ採取業ヲ停止スヘシ

所轄鑛山監督署長ニ於テ採取業ヲ停止セムトスルトキハ其ノ猶豫シ難キ場合ヲ除ク外ハ農商務大臣ノ認可ヲ經ヘシ  
採取業ヲ停止シタル後其ノ事故止ミタルトキハ所轄鑛山監督署長ハ其ノ停止ヲ解クヘシ

第九條 採取人前條ニ依リ命セラシタル豫防ヲ怠ルトキハ農商務大臣ハ既ニ與ヘタル許可ヲ取消ス

第十條 採取人正當ノ理由ナクシテ二箇年以上休業シ又ハ採取ノ許可ヲ受ケズ  
第一類 砂鑛採取法  
三百二十七

ル日ヨリ一箇年以内ニ採取ニ着手セサルトキハ農商務大臣ハ其ノ許可ヲ取消  
スコトヲ得

第十一條 詐偽又ハ錯誤ニ由リ採取ノ許可ヲ得タルコトヲ發見シタルトキハ農  
商務大臣ハ其ノ許可ヲ取消スヘシ若其ノ許可ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ニ於  
テ之ヲ發見シタルトキハ許可ノ日ヨリ三十日以内ニ其ノ許可ヲ取消ヲ農商務  
大臣ニ請求スルコトヲ得

第十二條 第七條第九條第十條及第十一條ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ達ヲ受  
ケタル日ヨリ三十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十三條 採取許可取消ノ處分ヲ受ケタル採取人ハ同一區域ニ付一箇年間採取  
ノ出願ヲ爲スコトヲ得ス

第十四條 左ノ場合ニ於テ採取人他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ必要トシ其ノ貸  
渡ヲ請求シタルトキハ其ノ土地所有者又ハ關係人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス  
一 洗鑛ノ爲

一 製鍊所建設ノ爲

一 洗滌用水路及溜池開設ノ爲

第十五條 採取人ハ使用スル土地ニ對シ其ノ土地所有者ニ相當ノ借地料ヲ仕拂  
フヘシ

其ノ賃入トナリタル土地ニ對スル借地料ハ賃取主ニ於テ之ヲ受領スルモノト  
ス

土地使用ニ依リ貸渡人又ハ關係人ニ損害ヲ加フルトキハ採取人ハ之ニ對シ相  
當ノ賠償ヲ爲スヘシ

第十六條 採取人借地料ノ仕拂ヲ延滞シタルトキハ土地所有者ハ其ノ土地ヲ取  
戻スコトヲ得

第十七條 第十四條ノ場合ニ於テ採取人五箇年以上土地ヲ使用スルトキハ其ノ  
土地所有者ハ土地ノ買取ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ採取人ハ其ノ買  
取ヲ拒ムコトヲ得ス

第一類 砂鑛採取法

第十八條

採取人ノ請求ニ依リ土地ヲ分割シテ賣渡シ又ハ貸渡シタルカ爲殘地ノ利用ヲ害スルトキハ土地所有者ハ採取人ニ對シ其ノ土地全部ノ買取若ハ借受ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ採取人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十九條

土地所有者又ハ關係人ト採取人トノ間ニ於テ土地貸渡、採取料、借地料、損害賠償金又ハ土地賣買代金ニ付協議調ハサルトキハ所轄鑛山監督署長ニ其ノ判定ヲ請求スルコトヲ得

所轄鑛山監督署長ノ判定ニ不服アルトキハ其ノ判定ヲ受ケタル日ヨリ三十日

以内ニ土地貸渡ニ就テハ農商務大臣ニ其ノ裁定ヲ請求シ採取料、借地料、損

害賠償金若ハ土地賣買代金ニ就テハ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項農商務大臣ノ裁定ニ對シテハ他ニ出訴スルコトヲ得ス

第二十條

所轄鑛山監督署長ノ判定又ハ農商務大臣ノ裁定請求ノ爲ニ要スル費用ハ民事訴訟費用ノ例ニ依リ負擔スヘキモノトス

第二十一條

採取人ハ土地所有者又ハ關係人ニ於テ所轄鑛山監督署長ノシ定判

タル採取料、借地料、損害賠償金又ハ土地賣買代金ニ不服アルモ其ノ金額ヲ土地所有者又ハ關係人ニ渡シ若シ受ケサルトキハ其ノ金額ヲ供託所ニ預ケ置キ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十二條 許可ヲ得スシテ採取ヲ爲シタル者又ハ詐僞ニ由リテ許可ヲ得タル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

第二十三條 此ノ法律施行以前ニ許可ヲ得タル採取人ハ此ノ法律ニ依リ引續キ其ノ業ヲナスコトヲ得

第二十四條 砂鑛採取ノ警察其ノ他國土保安ニ關シ必要ナル規定及此ノ法律ノ施行細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

第二十五條 此ノ法律ハ明治二十六年四月二日ヨリ施行ス

●砂鑛採取法施行細則

(明治三十二年二月一日 農商務省令第四號)

第一類 砂鑛採取法施行細則

明治二十七年農商務省令第七號砂鑛採取法施行細則左ノ通改正ス  
砂鑛採取法施行細則

- 第一條 砂鑛採取ニ關スル願書及添附實測圖ハ本令ニ定メタル書式及雛形ニ準シテ之ヲ調製スヘシ  
前項ノ願書ニハ第四號ノ書式ニ準シ明治三十二年勅令第四號ニ定メタル手数料ニ相當スル收入印紙ヲ貼用シタル上納書ヲ添附スヘシ
- 第二條 採取區域内ノ土地カ他人ノ所有ニ係ルトキハ採取願書ニ土地所有者又ハ關係人ノ承諾書ヲ添附スヘシ若シ承諾ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ  
前項ノ書類ヲ添附セサル採取願書ハ之ヲ受理セス
- 第三條 土地所有者又ハ關係人カ採取ノ出願ヲ承諾セサルトキハ所轄鑛山監督署長ハ六十日以上ニ於テ期日ヲ指定シ其ノ土地所有者又ハ關係人ニ採取願書ノ差出ヲ命スヘシ若シ其ノ期日迄ニ願書ヲ差出ササルトキハ出願セサルモノト看做ス

- 第四條 砂鑛採取ニ關スル書類ヲ郵便ニテ差出シタルトキハ發送郵便局ノ消印ニ依リテ差出ノ日ヲ定ムルモノトス
- 第五條 鑛業條例施行細則第四十六條及第四十七條ノ規定ハ砂鑛採取法第十一條ノ規定ニ依リテ採取許可ノ取消ヲ請求シ又ハ同法第十九條ノ規定ニ依リテ鑛山監督署長ノ判定又ハ農商務大臣ノ裁定ヲ請求スル場合ニ之ヲ準用ス
- 第六條 採取人ハ第三號ノ雛形ニ準シテ前年中ノ砂鑛採取業明細表ヲ調製シ毎年二月末日迄ニ之ヲ所轄鑛山監督署長ニ差出スヘシ  
採取人カ廢業シ又ハ採取業ヲ讓渡シタルトキハ三十日以内ニ第三號ノ雛形ニ準シテ調製シタル明細表ヲ差出スヘシ  
前二項ノ規定ニ依リテ明細表ヲ差出ス場合ニ於テ之ニ記載スヘキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ届出ツヘシ
- 第七條 採取人カ廢業シタルトキハ其ノ旨ヲ所轄鑛山監督署長ニ届出ツヘシ

第一類 砂鑛採取法施行細則

廢業ノ日ハ前項ノ届書差出ノ日トス

第八條 鑛業條例施行細則第十三條、第二十一條乃至第二十三條、第二十五條

乃至第三十條、第三十二條及第四十八條乃至第五十條ノ規定ハ砂鑛採取ニ之

ヲ準用ス

第九條 左ノ場合ニ於テハ採取人ヲ二圓以下二十圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第六條ノ手續ヲ爲ササルトキ

二 鑛業條例施行細則第二十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ準シテ差出スヘキ

書類又ハ圖面ヲ指定ノ期日迄ニ差出ササルトキ

三 鑛業條例施行細則第二十八條ノ規定ニ準シテ爲スヘキ立會ヲ爲サス又ハ

調査事項ノ説明ヲ爲ササルトキ

四 鑛業條例施行細則第四十八條、第四十九條又ハ第六十條ノ規定ニ準シテ

爲スヘキ届出ヲ爲ササルトキ

第十條 前條ノ規定ハ會社ノ代表者ニ之ヲ適用ス

第十一條 本令施行以前ニ差出シタル砂鐵採取願書ハ明治三十二年勅令第四號

施行ノ後ト雖モ仍ホ有效トス

第十二條 鑛業條例施行細則第五十七條、第五十八條、第六十條及第六十一條

ノ規定ハ砂鑛採取ニ之ヲ準用ス

第十三條 本令ハ明治三十二年二月十日ヨリ施行ス

第十四條 明治二十七年農商務省令第七號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

(雜形略ス)

第二類 農商工 附貨幣、度量衡

○農會

農會法……………一

農會令……………二

農會令施行規則……………一四

農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件……………一六

○耕地整理

耕地整理法……………一八

耕地整理法施行規則……………二〇

耕地整理施行ノ認可アリタルトキ申告事項ノ件……………二〇

整理地登記規則……………二二

整理地登記取扱手續……………二五

目次

○肥料取締	二
肥料取締法	三
肥料取締法施行規則	四
○害蟲豫防	六
害蟲驅除豫防法	六
○蠶病豫防	七
蠶病豫防法	七
蠶病豫防法施行規則	六
蠶種検査手數料	六
○生絲検査	九
生絲検査所法	九
生絲検査所法施行規則	九
○花筵検査	

花筵検査規則	一〇三
花筵検査規則施行細則	一〇四
○輸出羽二重取締	一一八
輸出羽二重取締規則	一一八
○産業組合	一二
産業組合法	一二
産業組合法施行規則	一三
産業組合登記取扱手續	一四
産業組合登記簿ノ謄本抄本等ノ手數料	一五
産業組合登記取扱場所	一五
○重要物産同業組合	一六
重要物産同業組合法	一六
重要物産同業組合法施行規則	一六
目次	三

重要物産同業組合ニ關シ地方長官ニ委任事項ノ件……………一六六

○茶業組合

茶業組合規則……………一六七

製茶産額僅少ノ府縣茶業組合規則停止ノ件……………一六八

茶業組合規則施行停止ノ府縣……………一六九

○産牛馬組合

産牛馬組合法……………一七九

産牛馬組合法施行規則……………一八一

○畜産

種牡馬検査法……………一八二

種牡馬検査法施行細則……………一八五

種牡馬検査法ヲ施行セサル島嶼……………一八九

種牡牛馬種付料ニ關スル件……………一九〇

種馬所種付規則……………一九〇

種牛牧場種付規則……………一九六

馬匹去勢法……………二〇三

○漁業

漁業法……………二〇五

漁業法施行規則……………二一四

漁業組合規則……………二二九

漁業ニ關スル手数料ノ件……………二三五

漁業ニ關シ差出ス申請書ニ要スル手数料ノ件……………二三七

水産組合規則……………二五八

外國領海水産組合法……………二六一

外國領海水産組合法施行規則……………二六三

遠洋漁業獎勵法……………二六六

目次



遠洋漁業獎勵法施行細則……………三七三

遠洋漁業獎勵法ニ依リ獎勵金ヲ下付スルコトヲ得ヘキ漁獵業ノ種類、船舶ノ噸數ノ制限並漁獵員ノ資格及定員……………二九九

○獸獵

  臘虎臘胸獸獵法……………二九五

  臘虎臘胸獸獵免許規則……………二九七

○狩獵

  狩獵法……………三〇〇

  狩獵法施行規則……………三〇七

○商業會議所

  商業會議所法……………三二七

  商業會議所法施行規則……………三三一

  商業會議所議員選舉規則……………三三四

商業會議所議員選舉權ニ關スル納稅額及資本額又ハ財産ヲ目的トスル出資額ノ件……………三三四

○取引所

  取引所法……………三三七

  取引所法施行規則……………三六六

  取引所所定ノ米ノ格付並株式會社組織ノ取引所定款中續用認可ノ件……………三七八

  米、有價證券取引市場設立ニ關スル件……………三七九

  取引所設立發起認可申請ニ關スル件……………三七八

  取引所資本金、營業保證金、株式、手數料、積立金及賣買取引ノ方法ニ關スル規程、仲買人免許料……………三八〇

  取引所稅法……………三八六

○保險

保險業法	三六八
保險業法施行規則	四一九
外國保險會社ニ關スル件(勅令)	四二七
外國保險會社ニ關スル件(省令)	四三六
相互保險會社登記取扱手續	四三七
相互保險會社登記簿謄本抄本等ノ手数料	四四三
外國相互保險會社登記簿謄本抄本等ノ手数料	四四三
相互保險會社登記事務取扱所	四四三
○銀行	
銀行條例	四四四
銀行條例施行細則	四四七
貯蓄銀行條例	四五二
貯蓄銀行條例施行細則	四五四

日本銀行條例	四五五
日本銀行納稅ニ關スル件	四六二
日本銀行兌換券發行稅賦課額算出方	四六三
橫濱正金銀行條例	四六四
日本勸業銀行法	四七〇
農工銀行法	四八七
農工銀行補助法	五〇二
日本興業銀行法	五〇五
臺灣銀行法	五二三
臺灣銀行補助法	五三二
北海道拓殖銀行法	五三二
銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル件	五三一
外國ニ於ケル銀行事業ニ關スル件	五三二
目次	九

株式會社第一銀行ノ韓國ニ於ケル業務ニ關スル件……………五三二

○信託

擔保附社債信託法……………五三七

擔保附社債信託法施行細則……………五七三

○工場抵當

工場抵當法……………五八四

工場抵當登記取扱手續……………六〇二

○特許、意匠、商標

特許法……………六〇八

特許法施行細則……………六二四

意匠法……………六三六

意匠法施行細則……………六三三

商標法……………六六六

商標法施行細則……………六九四

特許代理業者登録規則……………七二七

特許代理業者試験規則……………七三三

特許出願ニ關スル明細書及圖面調製方標準……………七三四

特許、意匠及商標ニ關スル手数料……………七三六

特許、意匠又ハ商標ニ關シ差出ス請求書、申請書ニ要スル手

數料……………七三八

特許法意匠法及商標法施行細則ノ規定ニ依リ書留郵便ヲ以テ

書類提出ノトキ封筒ニ記載方……………七三二

○實用新案

實用新案法……………七三三

實用新案法施行規則……………七四七

實用新案ニ關スル手数料……………七八〇

目次

實用新案ニ關シ差出ス請求書ニ要スル手数料……………七六二

○貨幣

貨幣法……………七八三

造幣規則……………七八九

金銀地金精製及品位證明規則……………七九一

○度量衡

度量衡法……………七九五

度量衡法施行令……………八〇六

度量衡法施行細則……………八二六

第一編 農商工 附貨幣、度量衡

●農會

●農會法 (明治三十二年六月八日 法律 第三百三號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル農會法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

農會法

第一條 農會ハ農事ノ改良發達ヲ計ル爲メニ設立スルモノトス

第二條 農會ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 農商務大臣ハ其ノ定ムル所ノ條件ヲ具備スル農會ニ補助金ヲ交付スル

コトヲ得

第四條 農會ニ補助スル金額ハ北海道又ハ一府縣ヲ通シテ一箇年四千圓ヲ超スルコトヲ得

第五條 農會補助ノ爲メ國庫ヨリ支出スル金額ハ一箇年十五萬圓ヲ超スルコト

第二類 農會法

第二類

農商工 附貨幣、度量衡

農會

農會法

(明治三十二年六月八日 法律 第三百三號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經テ此農會法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 農會ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 農會ハ農事ノ改良發達ヲ計ル爲メニ設立スルモノトス

第三條 農商務大臣ハ其ノ定ル所ノ條件ヲ具備スル農會ニ補助金ヲ交付スル

第四條 農會ニ補助スル金額ハ北海道又ハ三府縣ヲ通シテ一箇年四千圓ヲ超ユ

ルコトヲ得

第五條 農會補助ノ爲メ國庫ヨリ支出スル金額ハ一箇年十五萬圓ヲ超ユルコト

ルコトヲ得

第二類 農會法

一

ヲ得ス

附則

第六條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

●農會令

(明治三十八年十月二十七日)  
勅令第二百二十五號

朕農會令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

農會令

第一條 農會ハ市町村農會、郡農會、北海道農會及府縣農會トス

本令ニ依リ設立シタル農會ニ非サレバ前項ニ掲ケタル名稱ヲ附スルコトヲ得ス

第二條 農會ハ法人トス

農會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第三條 市町村農會ノ區域ハ市町村ノ區域ニ依リ郡農會ノ區域ハ郡ノ區域ニ依リ北海道農會又ハ府縣農會ノ區域ハ北海道又ハ府縣ノ區域ニ依ル但シ東京府

農會ニ在リテハ小笠原島及伊豆七島ヲ除ク

特別ノ事由アルトキハ市町村農會ノ區域ハ前項ノ區域ニ依ラサルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市農會ニ在リテハ地方長官、町村農會ニ在リテハ郡長ノ許可ヲ經テ其ノ區域ヲ定ムヘシ但シ市ノ區域ノ一部ヲ加ヘテ町村農會ノ區域ト爲サムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

市ト郡トノ區域ニ涉リテ市町村農會ノ區域ノ設定アリタルトキハ第一項郡農會ノ區域モ亦自ラ之ニ伴ヒ變更アリタルモノトス

北海道ニ於テハ數郡ヲ以テ一郡農會ノ區域ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ北海道廳長官ノ許可ヲ經テ其ノ區域ヲ定ムヘシ

第四條 市町村農會ハ其ノ區域内ニ於テ國及公共團體ヲ除クノ外耕地、牧場又ハ原野ヲ所有スル者及農業ヲ營ム者ヲ以テ之ヲ組織シ郡農會ハ其ノ區域内ノ町村農會ヲ以テ之ヲ組織シ北海道農會又ハ府縣農會ハ其ノ區域内ノ郡農會及市農會ヲ以テ之ヲ組織ス

第二類 農會令

第五條 市町村農會ヲ設立スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一 設立者ノ數第四條ノ資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ナルコト

二 其ノ區域内ニ於テ設立者ノ占有又ハ所有スル耕地及牧場ノ面積ノ秋用ニ

供スル耕地及牧場ノ總面積ノ三分ノ二以上ナルコト

北海道、沖繩縣、小笠原島及伊豆七島ニ於テハ前項第二號ノ條件ヲ要セス

第六條 郡農會ヲ設立スルニハ之ヲ組織スル農會ノ數其ノ區域内ノ町村總數ノ

三分ノ二以上ナルコトヲ要ス

府縣農會ヲ設立スルニハ之ヲ組織スル農會ノ數其ノ區域内ノ郡市總數ノ三分

ノ二以上ナルコトヲ要ス

北海道ニ於ケル郡農會及北海道農會ヲ組織スルニハ農會ノ數ハ農商務大臣之ヲ

定ム

第七條 農會成立シタルトキハ第四條ニ依リ當該農會ヲ組織スルニハ總テ其

ノ農會ニ加入シタルモノト看做ス

第八條 農會ノ設立者ハ會則ヲ定メ市町村農會ニ在リテハ五名以上ノ委員、其

ノ他ノ農會ニ在リテハ之ヲ組織スル農會ノ會長ヨリ之ヲ行政廳ニ差出シ農會

設立ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 會則ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 名稱並北海道農會、府縣農會及郡農會ニ在リテハ之ヲ組織スル農會ノ名

稱

二 事業

三 事務所

四 役員ノ職務權限、選任、解任及在期ニ關スル規定

五 會議ニ關スル規定

六 會費ノ分賦收入ニ關スル規定

七 財産ニ關スル規定

八 處務及會計ニ關スル規定

第二類 農會令

九 會則ノ變更ニ關スル規定

十 解散ニ關スル規定

會則ノ變更ハ行政廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第十條 總會ハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員、北海道農會、府縣農會及郡農會ニ在リテハ其ノ農會ヲ組織スル農會ノ代表者ヲ以テ之ヲ組織ス

農會ノ代表者ハ一農會ニ付一名トス

農會ニハ會則ノ定ムル所ニ依リ副代表者一名ヲ置クコトヲ得副代表者ハ代表者事故アルトキ之ヲ代理ス

第十一條 代表者及副代表者ハ總會ニ於テ役員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ役員中ヨリ選舉スルコト能ハサル場合ニ於テハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員中、其

ノ他ノ農會ニ在リテハ其ノ總會ヲ組織スル代表者中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

名譽會員中ヨリ選舉セラレタル役員ハ前項ノ代表者及副代表者タルコトヲ得ス

代表者及副代表者ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ三箇年トス但シ補闕ノ爲選舉セラ

シタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十二條 代表者及副代表者ハ其ノ任期満了ノ場合ト雖後任者ノ就任スル迄其

ノ職務ヲ行フモノトス

第十三條 總會ノ決議方法令若ハ會則ニ違背シ、公益ヲ害シ又ハ事業ノ執行上

不適當ナリト認ムルトキハ會長ハ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スルコトヲ得

第十四條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ召集スル暇ナ

シト認ムルトキハ會長ハ專決處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ次ノ總會ノ

承認ヲ求ムヘシ

第十五條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニシテ重要ノ事項ニ非サルモノハ會則ノ定

ムル所ニ從ヒ會長ニ於テ書面ニ依リ會員又ハ代表者ノ意見ヲ徵シ總會ノ召集

ニ代フルコトヲ得

第十六條 農會ハ農事ニ功勞アル者又ハ農事ニ關シ學識經驗アル者ヲ名譽會員

ト爲スコトヲ得



名譽會員ハ議決權ヲ有セス

第十七條 農會ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ

會長 一名

副會長 一名

前項ノ外役員トシテ評議員及幹事ヲ置クコトヲ得

評議員及幹事ノ員數ハ會則ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ評議員ハ市町村農會ニ在

リテハ七名、北海道農會、府縣農會及郡農會ニ在リテハ五名、幹事ハ二名ヲ

超ユルコトヲ得ス

第十八條 會長、副會長及評議員ハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員中、其ノ他

ノ農會ニ在リテハ代表者中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選舉スヘシ但シ會長及副會長

ハ名譽會員中ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ妨ケス

幹事ハ市町村農會ニ在リテハ會員中、其ノ他ノ農會ニ在リテハ代表者中ヨリ

會長之ヲ選任ス但シ名譽會員中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ケス

第十九條 會長ハ會務ヲ總理シ農會ヲ代表ス

副會長ハ會長ノ事務ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

副會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ及會務執行ノ狀況ヲ監査スルモノトス

幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌ル

第二十條 農會ノ經費ハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員ノ負擔トシ其ノ他ノ農

會ニ在リテハ之ヲ組織スル農會ノ負擔トス

市町村農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ物件ヲ以テ經費ノ負擔ヲ爲サシムルコト

ヲ得

市町村ハ必要ト認ムルトキハ監督官廳ノ許可ヲ得テ市町村農會ニ補助ヲ爲ス

コトヲ得

第二十一條 農會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十二條 農會ハ毎年總會ニ於テ經費ノ豫算及分賦收入ノ方法ヲ議決シ二月

第二類 農會令

末日迄ニ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ  
經費ノ豫算及分賦收入ノ方法ヲ變更セムトスルトキハ總會ノ議決ヲ經テ行政  
廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條 農會ハ毎年六月三十日迄ニ前年度ノ經費ノ決算、財産目錄及會務  
ノ狀況ヲ會員又ハ農會ニ公示シ且之ヲ行政廳ニ報告スヘシ

第二十四條 農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農事ニ關スル報告書ヲ作り之ヲ地方  
長官ニ差出スヘシ

第二十五條 農會ハ農事ノ改良發達ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得  
農會ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

第二十六條 行政廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ農會ノ狀況若ハ書類ヲ検査シ又  
ハ農會ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 農會ノ決議又ハ其ノ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違背スルトキ又  
ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ北海道農會及府縣農會ニ在リテハ農

商務大臣、其ノ他ノ農會ニ在リテハ地方長官ニ於テ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 決議ノ取消

二 役員ノ解職

三 事業ノ停止

四 解散

解職セラレタル役員ハ二箇年間役員タルコトヲ得ス

第二十八條 農會ニ於テ解散ヲ議決シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ行政廳ノ許可  
ヲ受クヘシ

第二十九條 行政區劃ノ變更アリタルトキハ農會ノ區域モ亦自ラ變更アリタル  
モノトス

農會ノ屬スル地方區域他ニ合併又ハ分割セラレタルトキハ其ノ農會ハ解散ス  
第三十條 前條ノ場合ニ於テ新地方區域内ニ既設ノ農會存立セザルトキ舊  
會ノ會員タリシ者並其ノ占有若ハ所有スル耕地及牧場ノ面積又ハ舊農會ヲ組

第二類 農會令

織セシ農會ノ數第五條若ハ第六條ノ條件ニ該當スルトキハ直ニ新地方區域ニ  
依ル農會ヲ設立シタルモノト看做ス  
前項ノ場合ニ於テハ行政廳ニ於テ假ニ會則ヲ定メ假役員及假代表者ヲ選任シ  
テ役員及代表者ノ選任アル迄會務ヲ處理セシムヘシ  
第一項ニ依リ設立シタル農會ハ會則ヲ議決シ設立ノ時ヨリ二箇月以内ニ行政  
廳ノ認可ヲ申請スヘシ

第三十一條 第三條第二項ノ場合ニ於テ郡長又ハ地方長官ノ許可ヲ經テ設立シ  
タル農會ニシテ特別ノ事由消滅シタルトキハ郡長又ハ地方長官ハ其ノ許可ヲ  
取消スヘシ  
農會ハ前項ノ取消ニ因リテ解散ス此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 農會ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ尙存續スルモノ  
ト看做ス  
第三十三條 農會解散シタルトキハ會長及副會長其ノ清算人ト爲ル但シ會則ニ別

與段々定アル限キ又ハ總會ノ決議ヲ以テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキハ行政廳清算人ヲ選任ス清算人關ケ  
タルトキ亦同シ

第三十四條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メテ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ  
清算人ハ農會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス  
第三十五條 行政廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ清算及財産處分方法ノ變更又ハ  
清算人ノ解職ヲ命スルコトヲ得

第三十六條 清算ヲ終了シタルトキハ清算人ハ農會ニ屬スル帳簿其ノ他ノ書類  
及清算ニ關スル一切ノ書類ヲ添ヘ其ノ旨ヲ行政廳ニ届出ツヘシ

第三十七條 第八條、第九條第二項、第二十二條、第二十三條、第二十八條、  
第三十條第二項及第三項、第三十三條第二項、第三十四條第一項、第三十五  
條及第三十六條ノ行政廳ハ町村農會ニ在リテハ郡長、市農會及郡農會ニ在リ  
テハ地方長官、北海道農會及府縣農會ニ在リテハ農商務大臣トス

第二類 農會令

附則

第三十八條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ既設ノ農會ニシテ第五條又ハ

第六條ノ條件ヲ具備スルニ至ラサルモノニ關シテハ第七條ノ規定ヲ適用セス

第三十九條 既設ノ農會ハ明治三十九年二月末日迄ニ本令ニ依リ總會ヲ開クヘ

シ其ノ總會ヲ開クニ至ル迄尙從前ノ規定ヲ適用ス

前項ノ總會ニ於テハ會則ノ變更ヲ議決シ其ノ議決シタル會則ニ依リ直ニ代表

者、現ニ代表者ニシテ役員タル者ニ代ハルヘキ役員並會則ニ於テ評議員及副

代表者ヲ置キタルモノニ在リテハ評議員及副代表者ヲ選舉スヘシ

現ニ代表者タル者及代表者ニシテ役員タル者ノ任期ハ新任者ノ就職スル日迄

トス

●農會令施行規則 (明治三十三年三月十七日) (農商務省令第三號)

農會令施行規則左ノ通相定ム

農會令施行規則

第一條 農會設立ノ認可申請書ニハ農會令第四條又ハ第五條ニ定メタル條件ヲ具備スルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第二條 役員ノ選任又ハ變更アリタルトキハ遲滯ナク其氏名ヲ行政廳ニ届出ヘシ

第三條 農會設立ノ認可アリタルトキハ遲滯ナク經費ノ豫算及分賦收入ノ方法ヲ議決シ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 農會ノ設立又ハ解散アリタルトキハ郡長ハ地方長官ニ、地方長官ハ農務大臣ニ其旨ヲ報告スヘシ

第五條 地方長官農會令第二十條ノ處分ヲ爲シタルトキハ直チニ其事由ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第六條 農會令第二十六條第一項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其申請書ニ會則及經費ノ豫算並分賦收入ノ方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第二類 農會令施行規則

第七條 農會ヨリ書面ヲ農商務大臣ニ差出ストキハ地方長官ヲ經由スヘシ

第八條 本則ハ農會法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

前條大司ニ其旨ヲ (明治三十五年十二月二十七日農商務省令第二十六號)

農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件左ノ通相定ム

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査シ地方長官ニ於テ告示

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査シ地方長官ニ於テ告示

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

第一條 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件

五 耕作用牛馬ノ頭數

六 總戶數及專業並兼業各農家(耕作ニ從事セサル地主ヲ除ク)ノ戶數

七 農業ニ關スル教育ヲ受ケタル者(農學校、農事講習所又ハ之ヲ準スヘキモ

ノヲ卒業シタル者及農事講習會又ハ之ニ準スヘキモノニ於テ講習ヲ受ケタ

ル者)ノ現在數

前項第一號乃至第三號ハ毎年ノ事實、第四號乃至第七號ハ每年末ノ事實ヲ調

査スヘシ

第二條 町村農會ハ前條ノ報告書ヲ郡(島ヲ含ム以下做之)農會ニ、郡農會ノ設

立ナキ地方ニ於ケル町村農會ハ道府縣農會ニ、市農會ハ道府縣農會ニ差出ス

ヘシ

郡農會ハ其ノ區域内ニ農會ノ設立ナキ町村アルトキハ自ラ前條ノ調査ヲ爲シ

町村農會ノ報告書ト共ニ總括シテ報告書ヲ作成シ之ヲ道府縣農會ニ差出スヘシ

道府縣農會ハ其ノ區域内ニ農會ノ設立ナキ市郡アルトキハ自ラ前條ノ調査ヲ

第二類 農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件 十七

爲シ市農會及郡農會ノ報告書ト共ニ總括シテ報告書ヲ作成シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第三條 前條ノ規定ニ依リ報告書ヲ差出スヘキ期限ハ町村農會ニ在リテハ調査ヲ爲シタル年ノ翌年一月末日、市農會及郡農會ニ在リテハ二月末日、道府縣農會ニ在リテハ三月末日トス

附則

第四條 本令ハ明治三十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●耕地整理

●耕地整理法

(明治三十二年三月二十日) 法律第八十二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル耕地整理法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

耕地整理法

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ耕地ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ其ノ所有者共同シテ土地ノ交換若ハ分合、區劃形狀ノ變更、道路、堤塘、畦畔、溝渠、溜池等ノ變更廢置及之ニ伴フ灌漑排水ニ關スル設備並工事ヲ行フヲ謂フ (二十八年法律第三十一號ヲ以テ改正)

第二條 第五條、第九條、第十條、第十二條乃至第十六條、第二十六條、第三十條乃至第三十二條及第五十一條ノ規定ハ一人ニシテ其ノ所有地ノ整理ヲ施行スル場合ニ之ヲ準用ス

第三條 耕地ニシテ特別ノ價值用途アル土地及耕地ニアラサル土地ハ其ノ所有者ノ同意アルニアラサレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス  
前項ノ土地ニシテ其ノ所有者ノ同意ナキトキト雖整理ノ施行ニ必要ナルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得但シ府縣、郡、市町村其ノ他公共團體ノ公用ニ供スル土地、宅地、名勝地、舊蹟地、古墳墓地、墳墓地、社寺境内地、鐵道用地及軌道用地ハ此ノ限ニ在ラス

第二類 耕地整理法

第四條 建物アル宅地又ハ鐵道用地ハ其ノ建物ノ所有者及登記ヲ爲シタル第三  
權利者ノ同意アルニアラサレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス

第五條 御料地、國有地又ハ官ノ用ニ供スル土地ハ主務官廳ノ認許アルニアラ  
サレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス

第六條 整理施行ヲ發起セントスル者又ハ整理委員ハ市町村長ノ證明ヲ得テ整  
理地區ヲ管轄スル登記所、土地臺帳所管廳又ハ市役所、町村役場ニ對シ無償  
ニテ整理ニ必要ナル簿書ノ閱覽又ハ謄寫ヲ求ムルコトヲ得

第七條 參加土地所有者ハ整理施行中其ノ土地ヲ利用スルコト能ハサルモ補償  
ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス但シ整理施行ノ爲溝渠、堤塘又ハ道路ノ敷地ニ充テ  
タル土地ニ付テハ規約ヲ以テ補償ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第八條 整理施行ノ爲必要アルトキハ整理地區内ノ工作物、木石等ヲ移轉シ又  
ハ破毀スルコトヲ得但シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スヘシ

第九條 整理地區ニ編入シタル土地ヲ讓受ケタル者ハ整理ニ關シテ其ノ讓渡人  
ノ有スル一切ノ權利義務ヲ承繼ス

第十條 整理施行ノ爲國有ニ屬スル溝渠、堤塘、道路等ノ全部又ハ一部ヲ廢止  
シタル場合ニ於テ其ノ不用ニ歸シタル土地ハ無償ニテ之ヲ參加土地所有者ニ  
交付ス

整理地區内ニ開設シタル溝渠、堤塘、道路等ニシテ前項ノ規定ニ依リテ廢止  
シタルモノニ代ルヘキモノハ無償ニテ之ヲ國有地ニ編入ス

第十一條 參加土地所有者ニハ從前ノ土地ノ地目、面積、等位等ヲ標準トシ換  
地ヲ交付スヘシ但シ地目、面積、等位等ヲ以テ相殺ヲ爲スコト能ハサル場合  
ニ於テ從前ノ土地ト換地トノ價額ノ差ハ金錢ヲ以テ之ヲ清算ス

敷筆ノ土地ヲ分合シテ換地ヲ交付スル場合ニ於テハ其ノ換地ハ各筆毎ニ之ヲ  
割當ツヘシ

第十二條 整理地區ニ市町村以上ニ渉ル場合ニ於テ換地トシテ交付スル一筆ノ  
土地ハ二市町村以上ニ渉ルコトヲ得ス

第二類 耕地整理法

第十三條 整理施行中土地ノ區劃形狀ノ變更及道路、畦畔若ハ溝渠等ノ變更廢置ハ地目變換又ハ開墾ト看做サス

第十四條 整理地區ニ編入シタル土地ノ地租ハ其ノ地區ノ全部ニ付土地臺帳ノ整理ヲ完了スルマテ從前ノ地域、地目、地價ニ依リテ之ヲ徵收ス

第十五條 整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ明治三十年法律第三十九號ノ規定ニ依リテ之ヲ定ム

第十六條 整理施行ヲ爲シタル爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登録ヲ爲ストキハ登録稅ヲ免除ス

第十七條 本法ニ於テ參加土地所有者ト稱スルハ整理地區内ニ於テ第五條ノ土地ニアラサル土地ヲ所有スル者ヲ謂フ

第十八條 整理地區ノ屬スル市町村及其ノ鄰接市町村ニ住所ヲ有セサル參加土地所有者ハ其ノ市町村内ニ住所ヲ有スル者ニ委任シテ整理施行ニ關スル一切ノ行爲ヲ代理セシムルコトヲ得

參加土地所有者前項ノ代理人ヲ定メタルトキハ發起人又ハ整理委員ニ其ノ氏名住所ヲ通知スヘシ

代理人ハ二人以上ノ參加土地所有者ヲ代理スルコトヲ得ス

第十九條 發起人又ハ整理委員ハ第二十二條第二十六條第四十條及第四十八條ノ認可アリタルトキハ其ノ旨ヲ公告シ且之ヲ第四條ニ依ル建物所有者及土地又ハ建物ニ付登記ヲ爲シタル第三權利者ニ通知スヘシ第三十條乃至第三十二條ノ命令アリタルトキ亦同シ

第二章 發起及監督

第二十條 整理施行ヲ發起スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一 整理地區内ニ於ケル土地所有者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコト

二 整理地區内ニ於テ同意者ノ所有スル土地ノ面積整理地區ノ總面積ノ三分

ノ二以上ナルコト

三 整理地區内ニ於テ同意者ノ所有スル土地ノ地價額整理地區ノ地價總額ノ

第二類 耕地整理法



三分ノ二以上ナルコト

前項ノ條件ヲ具備シタルトキハ發起人ハ整理施行ヲ發起スル旨ヲ市町村長ニ届出ヘシ

第二十一條 發起人ハ發起ノ爲必要アルトキハ市町村長ノ認許ヲ得テ他人ノ土地ニ立入ルコトヲ得但シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スヘシ

第二十二條 發起人ハ設計書及規約ヲ作り地方長官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出シ發起ノ認可ヲ申請スヘシ

第二十三條 設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 整理ニ因リテ得ヘキ利益
- 二 整理施行ノ方法及順序
- 三 整理地區及之ニ鄰接スル土地ノ現形圖
- 四 整理豫定圖
- 五 工事ノ著手及竣成ノ時期

六 整理費用及夫役ノ豫算

第二十四條 規約ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 整理總會ノ招集及會議ノ方法
  - 二 整理委員ノ員數、職務及職務執行方法
  - 三 處務ニ關スル規定
  - 四 補償金評定ノ標準
  - 五 發起及整理ノ費用並夫役ノ賦課徵收方法
  - 六 整理中土地使用ノ方法
  - 七 換地割當及増歩地處分ノ方法
- 第二十五條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滞ナク創業總會ヲ招集シテ設計書及規約ノ議定ヲ求ムヘシ
- 第二十六條 創業總會ニ於テ設計書及規約ヲ議定シタルトキハ發起人ハ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ之ヲ差出シ整理施行ノ認可ヲ申請スヘシ

第二類 耕地整理法

二十五

第二十七條 整理施行ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滞ナク創業總會ヲ召集スヘシ此ノ總會ニ於テハ參加土地所有者整理委員ヲ互選ス

第二十八條 參加土地所有者ハ整理施行ノ認可ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス但シ第三條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第二項ノ規定ニ依リ整理地區ニ編入シタル土地ノ所有者ハ認可公告ノ日ヨリ三十日以内ニ農商務大臣ニ訴願ヲ爲スコトヲ得

訴願ノ裁決前ニ於テハ整理工事ニ著手スルコトヲ得ス

第二十九條 整理施行ノ認可アリタルトキト雖第三條第二項ノ規定ニ依リ整理地區ニ編入シタル土地アルトキハ認可公告ノ日ヨリ三十日ヲ經過スルニアラサレハ整理工事ニ著手スルコトヲ得ス

第三十條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ設計書又ハ規約ノ變更ヲ命シ又ハ整理施行發起ノ認可ヲ取消スコトヲ得(三十八年法律第三十一號ヲ以テ條中改正)

第三十一條 設計書ニ定メタル工事著手ノ期限後十二箇月以内ニ工事ニ著手セサルトキハ農商務大臣ハ整理施行ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第三十二條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ一時整理工事ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第三十二條ノ二 農商務大臣ハ整理施行ニ關シ其ノ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得(三十八年法律第三十一號ヲ以テ追加)

第三章 總會

第三十三條 總會ハ參加土地所有者ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十四條 總會ヲ召集スルニハ會日ヨリ五日前ニ各參加土地所有者ニ通知ヲ發スヘシ

前項ノ通知ニハ總會ノ目的及ヒ總會ニ於テ決議スヘキ事項ヲ記載スヘシ  
參加土地所有者ハ前二項ノ手續ニ反シテ爲シタル決議ニ對シ異議ヲ述フルコトヲ得但シ其ノ決議ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二類 耕地整理法

第三十五條 總會ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外整理委員之ヲ招集ス

第三十六條 參加土地所有者ノ五分ノ一以上ニ當ル者又ハ整理地區ノ總面積若

ハ地價總額ノ五分ノ一以上ニ當ル參加土地所有者ハ會議ノ目的及其ノ理由ヲ

記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ發起人又ハ整理委員ハ十四日以内ニ總會ヲ招集ス

ヘシ

第三十七條 各參加土地所有者ハ一箇ノ議決權ヲ有ス

前項ノ規定ハ規約ヲ以テ一人ニ付二箇以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ妨ケ

ス但シ其ノ議決權ハ議決權總數ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十八條 整理地區ニ編入シタル土地數人ノ共有ニ屬スルトキハ其ノ共有者

ハ參加土地所有者ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムヘシ

第三十九條 農商務大臣ノ命令ニ依ラスシテ設計書若ハ規約ヲ變更シ又ハ整理

施行ヲ停止若ハ廢止セントスルトキハ總會ノ議決ヲ經ヘシ

前項ニ依リ整理施行ノ停止若ハ廢止ノ議決ヲ爲ストキハ同時ニ其ノ停止中解  
ハ廢止後ノ處分方法ヲ議決スヘシ

第四十條 前條ノ議決アリタルトキハ整理委員ハ地方長官ヲ經由シテ農商務大

臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十一條 創業總會ノ議決並第三十九條、第四十七條及第五十三條ノ議決ヲ

爲スニハ第二十條第一項ノ條件ヲ具備スルヲ要ス

第四章 整理委員

第四十二條 整理委員三人以上ナルトキハ委員長一人ヲ互選スヘシ

委員長ハ整理委員ヲ代表ス

第四十三條 整理委員ハ規約ニ定メタル職務ヲ執行スルニ付參加土地所有者ヲ

代表ス

第四十四條 整理委員ハ設計書及規約ノ定ムル所ニ依リ整理工事ノ施行、整理

ニ關シテ生シタル債務ノ辨濟其ノ他整理施行ニ關シ一切ノ事務ヲ處理スルノ

第二類 耕地整理法

貴ニ任ス(三十六年法律第十一號ヲ以テ改正)

第四十五條 整理委員ハ設計書、規約及總會ノ決議録ヲ備ヘ置クヘシ

參加土地所有者及第三權利者ハ前項ノ書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第四十六條 農商務大臣ハ何時ニテモ整理委員ヲシテ整理事業ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十七條 整理工事完了シタルトキハ整理委員ハ第十一條ノ處分及増歩地ノ

處分ニ關シ整理總會ノ決議ヲ經ヘシ

第四十八條 前條ノ決議アリタルトキハ整理委員ハ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第四十九條 所有權ニ關スル訴訟ノ目的タル土地ヲ整理地區ニ編入シ又ハ整理地區ニ編入シタル土地其ノ所有權ニ關スル訴訟ノ目的ト爲リタル場合ニ於テ其ノ土地ノ所有者第十一條ノ規定ニ依リ補償トシテ金錢ヲ受取ルヘキトキハ整理委員ハ當事者ノ請求ニ因リ其ノ金額ヲ供託スヘシ

第五十條 整理施行ノ爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登録ヲ爲ス場合ニ於テハ整理委員ハ參加土地所有者ニ代リテ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十一條 整理事業完了シタルトキハ整理委員ハ事業報告書及收支決算書ヲ作り整理總會ノ承認ヲ求ムヘシ

整理總會前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ整理委員ハ遲滯ナク地方長官ヲ經由シテ前項ノ書類ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第五十二條 整理委員其ノ職務ヲ終リタルトキハ整理ニ關スル一切ノ書類ヲ市町村長ニ引渡スヘシ

前項ノ書類ノ保存期間ハ農商務大臣之ヲ定ム

第五十三條 整理委員ノ選任及解任ハ總會ノ決議ニ依ル

第五十四條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ整理委員ノ改選ヲ命スルコトヲ得

第五十五條 整理委員ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ學術技藝アル者ヲ協議員ト爲

第二類 耕地整理法